

第 1 章

母 子 保 健 統 計

本書で用いる用語の説明

- 1 出生率 = $\frac{1 \text{ 年間の出生数}}{\text{人 口}} \times 1,000$
- 2 合計特殊出生率 = $\left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$ 15歳から49歳までの合計
- 3 妊産婦死亡率 = $\frac{\text{妊産婦死亡数}}{\text{出産（出生数＋死産数）数}} \times 100,000$
死産とは妊娠満12週（第4月）以後のものをいう。
- 4 乳児死亡率 = $\frac{1 \text{ 歳未満の死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$
- 5 新生児死亡率 = $\frac{\text{生後 4 週（28日）未満の死亡数}}{\text{出 生 数}} \times 1,000$
- 6 早期新生児死亡率 = $\frac{\text{生後 1 週未満の死亡数}}{\text{出 生 数}} \times 1,000$
- 7 周産期死亡率 = $\frac{\text{妊娠満22週以後の死産数＋早期新生児死亡数}}{\text{出産（出生数＋妊娠22週以後の死産数）数}} \times 1,000$
- 8 死産率（自然死産率・人工死産率） = $\frac{\text{死産（自然・人工）数}}{\text{出産（出生＋死産）数}} \times 1,000$
死産とは妊娠満12週（第4月）以後のものをいう。人工死産は人工妊娠中絶のうち、妊娠満12週（第4月）から妊娠22週（第6月）未満のものをいう。
- 9 妊娠満22週以後の死産率 = $\frac{\text{妊娠満22週以後の死産数}}{\text{出産（出生数＋妊娠22週以後の死産数）数}} \times 1,000$
- 10 人工妊娠中絶実施率 = $\frac{\text{人工妊娠中絶総件数}}{\text{15歳以上50歳未満女子総人口}} \times 1,000$
- 11 20歳未満人工妊娠中絶実施率 = $\frac{\text{20歳未満の人工妊娠中絶件数}}{\text{15歳以上20歳未満女子総人口}} \times 1,000$

I 母子保健に関する統計

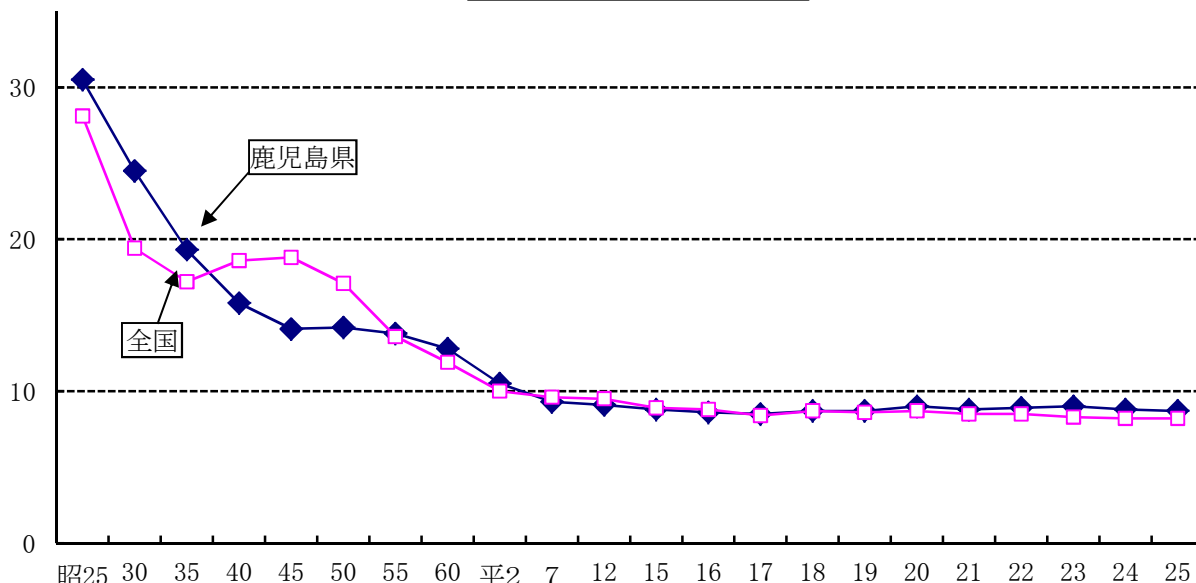
1 出生

(1) 出生数・率

本県の平成25年の出生数は14,637人で、平成24年の14,841人より204人減少し、出生率は8.7であった。また、1人の女性が一生に生む子どもの数を表すといわれる合計特殊出生率は、平成25年は1.63となり、平成24年から0.01ポイント減少している。

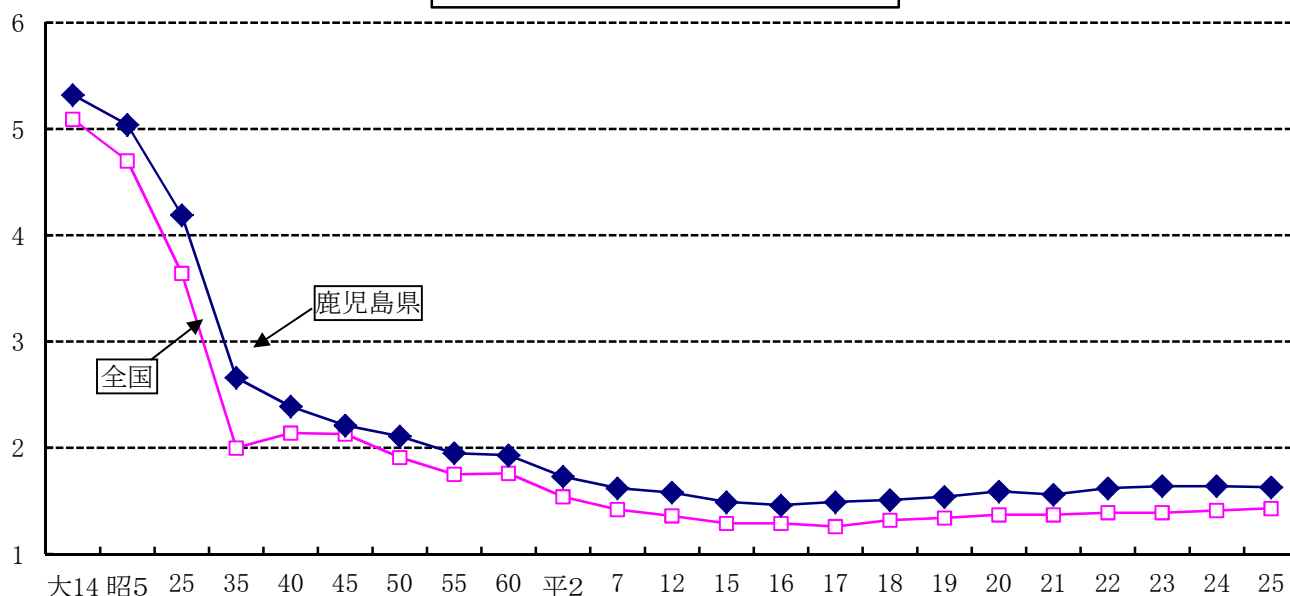
人口千対

図1 出生率の年次推移

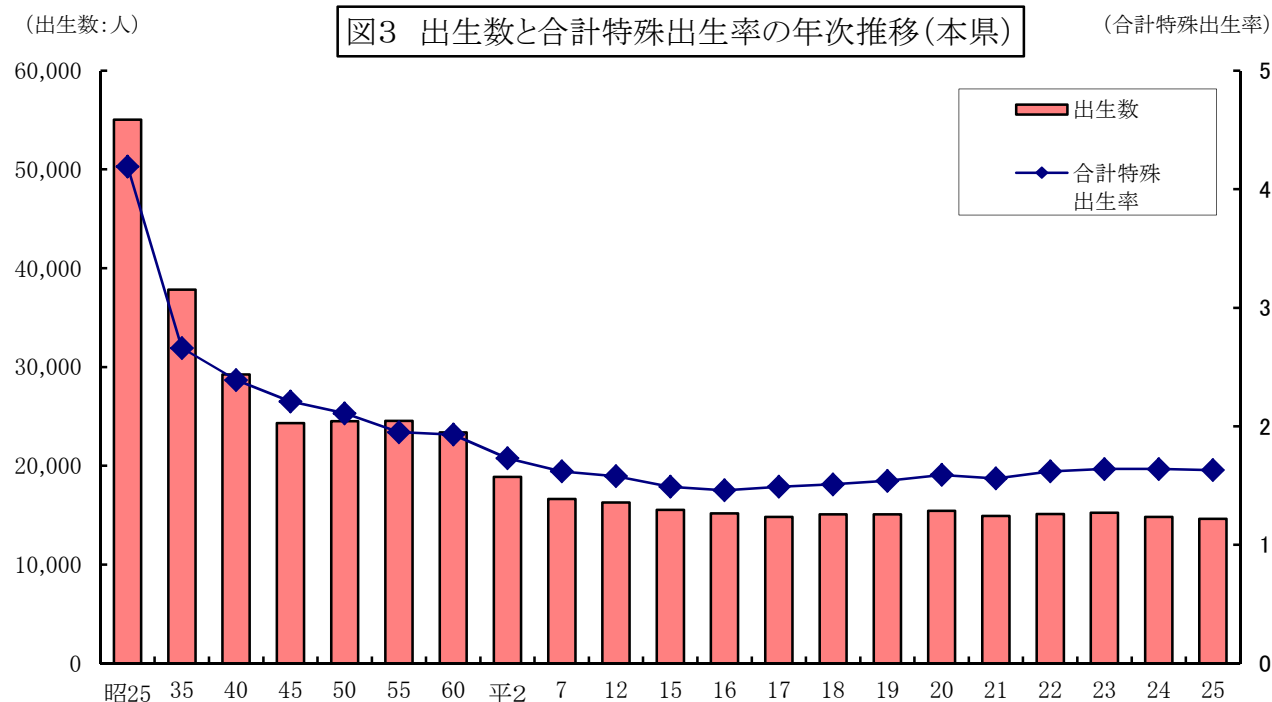


資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

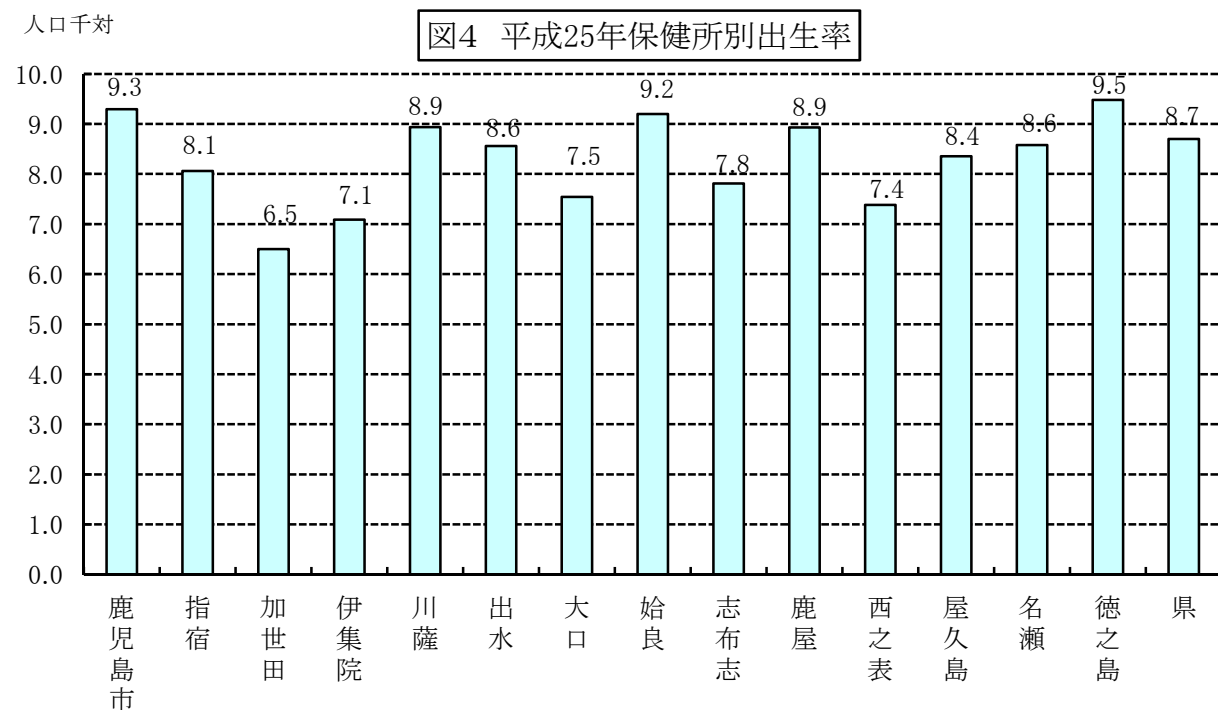
図2 合計特殊出生率の年次推移



資料:本県「衛生統計年報」, 厚生労働省「人口動態統計」, 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2009」(大14～昭25)



資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	姶良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
出生数	5,647	349	628	576	1,078	749	211	1,962	653	1,427	227	111	609	410	14,637
出生率	9.3	8.1	6.5	7.1	8.9	8.6	7.5	9.2	7.8	8.9	7.4	8.4	8.6	9.5	8.7

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(2) 出生順位

生まれた子とその母親の何番目の子にあたるかについて見てみると、本県では昭和30年には第3子以上が全出生数の55.0%を占めていたが、その後減少傾向となり、平成17年が18.7%と最も低かった。その後、微増し平成25年には23.3%となった。

図5 昭和30年出生順位出生割合

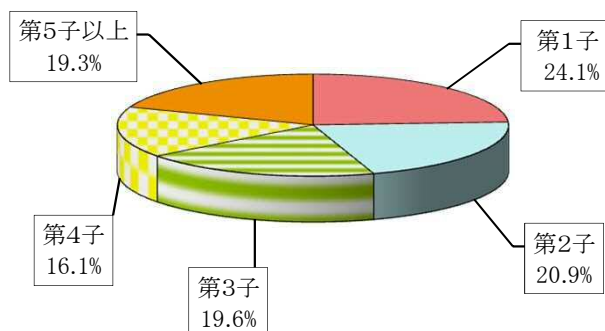
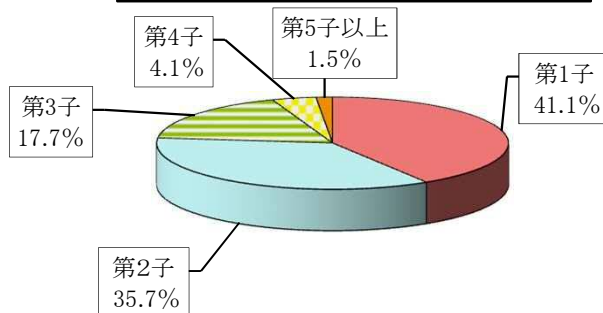


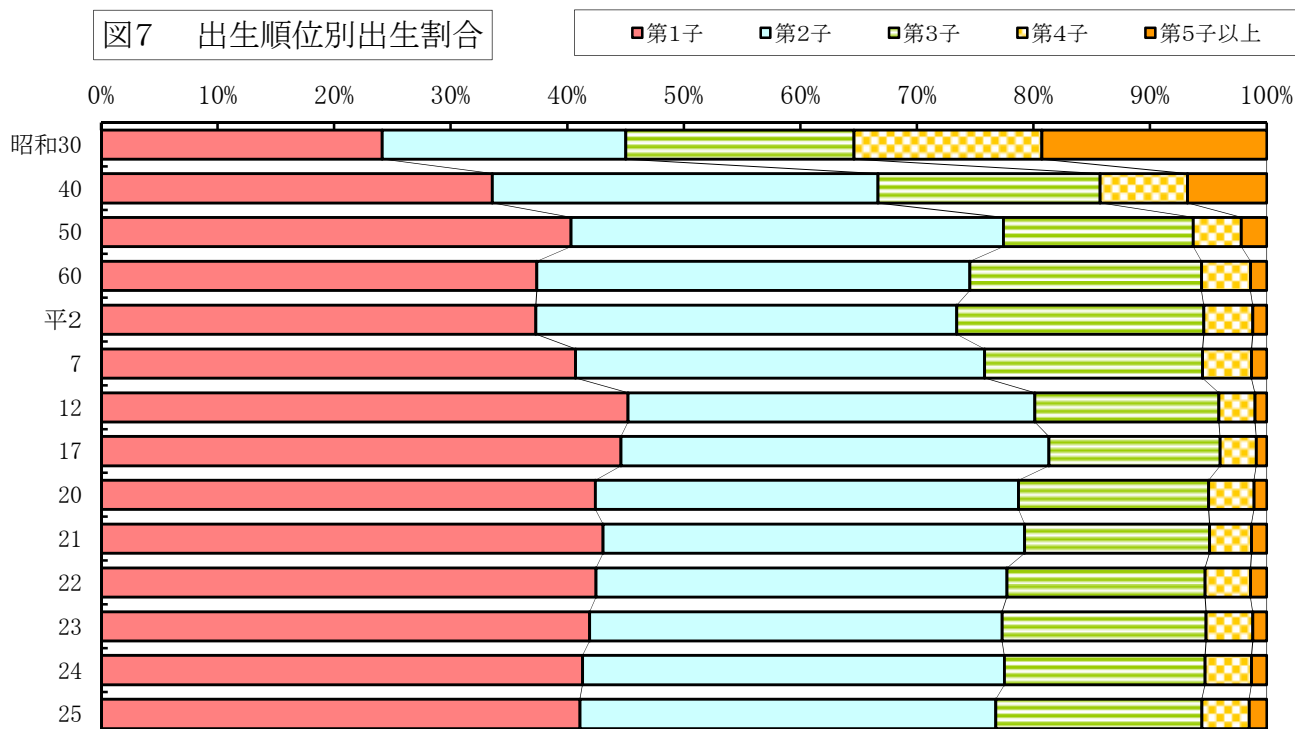
図6 平成25年出生順位出生割合



年次	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和30	12,059	24.1	10,425	20.9	9,773	19.6	8,069	16.1	9,653	19.3
40	9,814	33.6	9,687	33.1	5,575	19.1	2,183	7.5	1,984	6.8
50	9,883	40.3	9,098	37.1	4,003	16.3	1,011	4.1	526	2.2
60	8,731	37.4	8,697	37.2	4,639	19.9	975	4.2	333	1.4
平2	7,053	37.3	6,815	36.1	4,012	21.2	789	4.2	223	1.2
7	6,765	40.7	5,843	35.1	3,109	18.7	710	4.2	222	1.3
12	7,357	45.2	5,681	34.9	2,560	15.8	506	3.1	168	1.0
17	6,615	44.6	5,444	36.7	2,175	14.7	456	3.1	144	0.9
20	6,549	42.4	5,608	36.3	2,515	16.3	599	3.9	174	1.1
21	6,425	43.1	5,398	36.2	2,376	15.9	534	3.6	187	1.3
22	6,428	42.5	5,334	35.3	2,570	17.0	586	3.9	206	1.4
23	6,394	41.9	5,392	35.4	2,664	17.5	607	4.0	187	1.2
24	6,129	41.3	5,371	36.2	2,547	17.2	598	4.0	196	1.3
25	6,012	41.1	5,223	35.7	2,588	17.7	593	4.1	221	1.5

資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

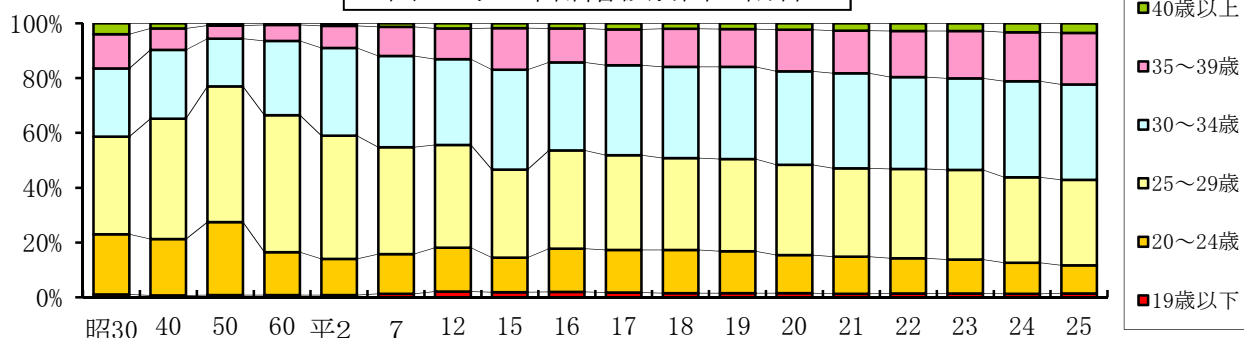
図7 出生順位別出生割合



(3) 母の年齢階級別出生割合

平成25年の母の年齢階級別出生割合は、本県では22.3%が35歳以上であり、国の26.9%に比べると低いが、増加傾向にある。

図8 母の年齢階級別出生割合



(単位 %)

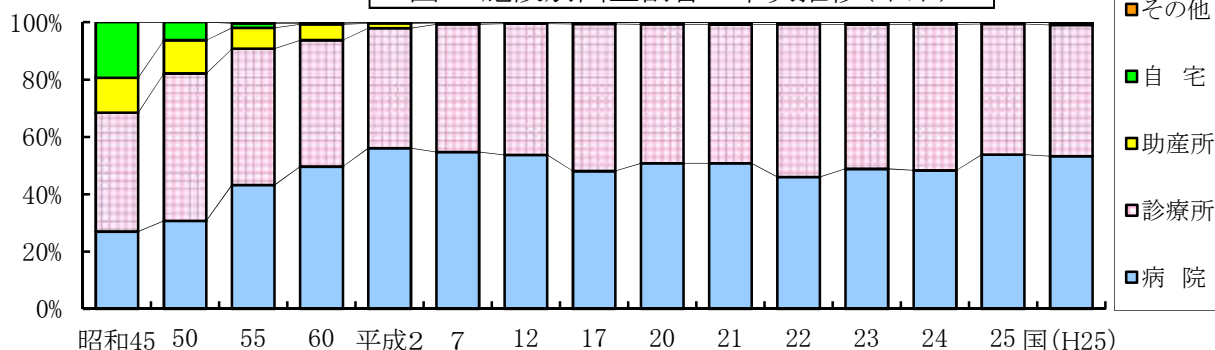
	昭30	40	50	60	平2	7	12	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	国(H25)
40歳以上	4.0	1.9	0.9	0.6	1.0	1.4	1.9	1.8	1.9	2.3	2.1	2.2	2.4	2.8	2.9	2.9	3.3	3.6	4.6
35～39歳	12.5	7.9	4.8	5.9	8.0	10.6	11.2	15.2	12.4	13.1	13.8	13.7	15.2	15.5	16.8	17.2	17.9	18.7	22.3
30～34歳	24.8	25.2	17.3	27.0	32.0	33.3	31.3	36.5	32.1	32.8	33.3	33.6	34.1	34.6	33.4	33.4	35.0	34.8	35.5
25～29歳	35.6	44.0	49.5	50.0	45.0	39.0	37.5	32.1	35.8	34.5	33.5	33.7	32.9	32.2	32.5	32.7	31.2	31.2	27.5
20～24歳	21.9	20.7	26.6	15.6	13.1	14.5	16.0	12.6	15.8	15.5	15.7	15.3	13.9	13.6	12.9	12.4	11.3	10.3	8.9
19歳以下	1.1	0.7	0.8	0.9	0.9	1.3	2.1	1.9	2.0	1.8	1.6	1.5	1.5	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(4) 施設別出生割合

本県でも全国と同様に病院・診療所における出生が99.4%と大部分を占めている。また、昭和50年と比較すると、助産所・自宅での出生が大幅に少なくなっている。

図9 施設別出生割合の年次推移(本県)



年次	出生数	病 院		診 療 所		助産所		自 宅		その他	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和45	24,311	6,552	27.0	10,085	41.4	2,960	12.2	4,714	19.4	-	-
50	24,521	7,516	30.7	12,622	51.4	2,846	11.6	1,537	6.3	-	-
55	24,540	10,615	43.2	11,670	47.6	1,803	7.3	356	1.5	96	0.4
60	23,375	11,825	50.6	10,526	45.0	853	5.6	130	0.6	41	0.2
平成2	18,892	10,588	56.0	7,929	42.0	290	1.6	51	0.3	18	0.1
7	16,649	9,099	54.7	7,430	44.6	76	0.5	36	0.2	8	0.0
12	16,272	8,746	53.8	7,445	45.8	47	0.3	24	0.1	10	0.1
17	14,834	7,140	48.1	7,604	51.3	72	0.5	15	0.1	3	0.0
20	15,445	7,848	50.8	7,483	48.4	91	0.6	17	0.1	6	0.0
21	14,920	7,579	50.8	7,219	48.4	103	0.7	15	0.1	4	0.0
22	15,124	6,956	46.0	8,057	53.3	94	0.6	15	0.1	2	0.0
23	15,244	7,454	48.9	7,668	50.3	100	0.7	17	0.1	5	0.0
24	14,841	7,172	48.3	7,566	51.0	83	0.6	16	0.1	4	0.0
25	14,637	7,885	53.9	6,662	45.5	74	0.5	14	0.1	2	0.0
国(H25)	1,029,816	548,744	53.3	471,419	45.8	7,959	0.8	1,353	0.1	341	0.0

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

注)昭和45年、50年の「自宅」の数は、「自宅及びその他」の合計数である。

2 妊産婦死亡

全国的にみると、若干の変動はあるものの漸次減少傾向を示している。
本県においては、平成2年以降、妊産婦死亡数は0～2人で推移している。

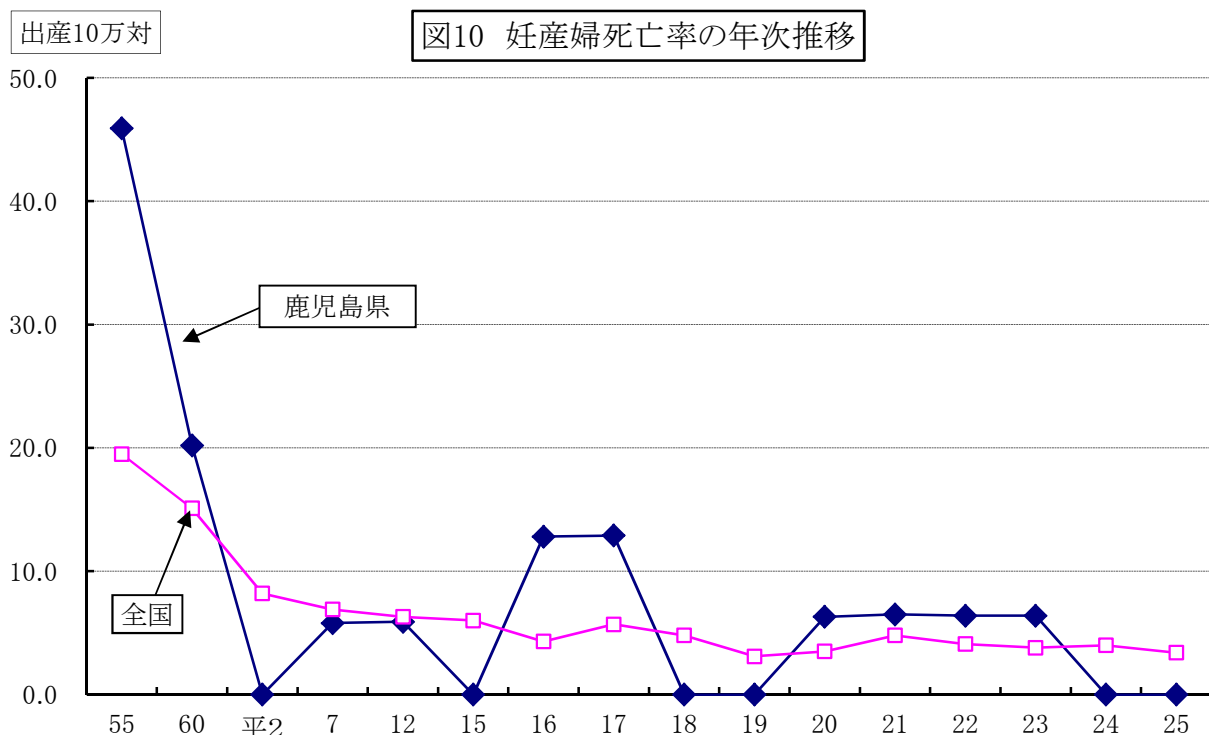


表1 妊産婦死亡数及び率の年次推移

(出産10万対)

年次	鹿児島県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	96人	17.4	4,117人	17.6
30	84	16.8	3,095	17.9
35	64	16.9	2,097	13.1
40	39	13.3	1,597	8.8
45	30	12.4	1,008	5.2
50	8	3.3	546	2.9
55	12	45.9	323	19.5
60	5	20.2	226	15.1
平2	0	0.0	105	8.2
7	1	5.8	85	6.9
12	1	5.9	78	6.3
15	0	0.0	69	6.0
16	2	12.8	49	4.3
17	2	12.9	62	5.7
18	0	0.0	54	4.8
19	0	0.0	35	3.1
20	1	6.3	39	3.5
21	1	6.5	53	4.8
22	1	6.4	45	4.1
23	1	6.4	41	3.8
24	0	0.0	42	4.0
25	0	0.0	36	3.4

* 妊産婦死亡率は、昭和53年までは出生万対である。

資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

3 乳児死亡・新生児死亡

(1) 乳児死亡・新生児死亡数

本県の乳児死亡数・率は、昭和30年には1,693人(出生千対33.9)であったが、その後、多少の変動をしながら減少しており、平成25年は37人(出生千対2.5)であった。

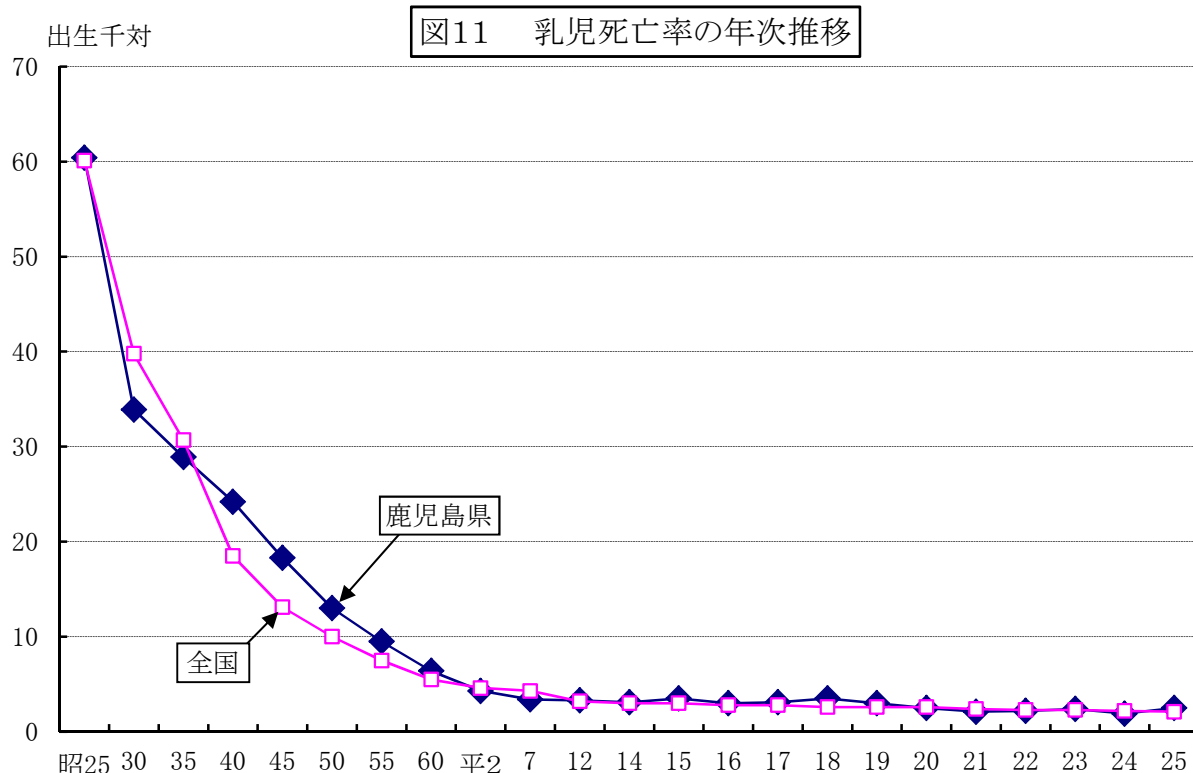
また、新生児死亡数・率については、昭和30年には824人(出生千対16.5)であったが、平成25年は14人(出生千対1.0)となった。

平成25年は、乳児死亡率は全国よりも高く、新生児死亡率は全国と同じ水準となっている。

表2 乳児・新生児死亡数及び率(出生千対)の年次推移

年次	鹿児島県				全 国			
	乳 児		新 生 児		乳 児		新 生 児	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	人 3,325	60.4	人 —	—	人 140,525	60.1	人 64,142	27.4
30	1,693	33.9	824	16.5	68,801	39.8	38,646	22.3
35	1,094	28.9	525	13.6	49,293	30.7	27,362	17.0
40	709	24.2	442	15.1	33,742	18.5	21,260	11.7
45	446	18.3	267	11.0	25,412	13.1	16,742	8.7
50	319	13.0	201	8.2	19,103	10.0	12,918	6.8
55	233	9.5	144	5.9	11,841	7.5	7,795	4.9
60	150	6.4	90	3.9	7,899	5.5	4,910	3.4
平2	81	4.3	45	2.4	5,616	4.6	3,177	2.6
7	56	3.4	24	1.4	5,054	4.3	2,615	2.2
12	53	3.3	18	1.1	3,830	3.2	2,106	1.8
14	49	3.1	20	1.3	3,497	3.0	1,937	1.7
15	55	3.5	31	2.0	3,364	3.0	1,879	1.7
16	46	3.0	22	1.4	3,122	2.8	1,622	1.5
17	46	3.1	17	1.1	2,958	2.8	1,510	1.4
18	53	3.5	17	1.1	2,864	2.6	1,444	1.3
19	46	3.0	23	1.5	2,828	2.6	1,434	1.3
20	38	2.5	13	0.8	2,798	2.6	1,331	1.2
21	31	2.1	14	0.9	2,556	2.4	1,254	1.2
22	34	2.2	15	1.0	2,450	2.3	1,167	1.1
23	36	2.4	15	1.0	2,463	2.3	1,147	1.1
24	28	1.9	13	0.9	2,299	2.2	1,065	1.0
25	37	2.5	14	1.0	2,185	2.1	1,026	1.0

資料:厚生労働省「人口動態統計」



出生千対

図12 新生児死亡率の年次推移

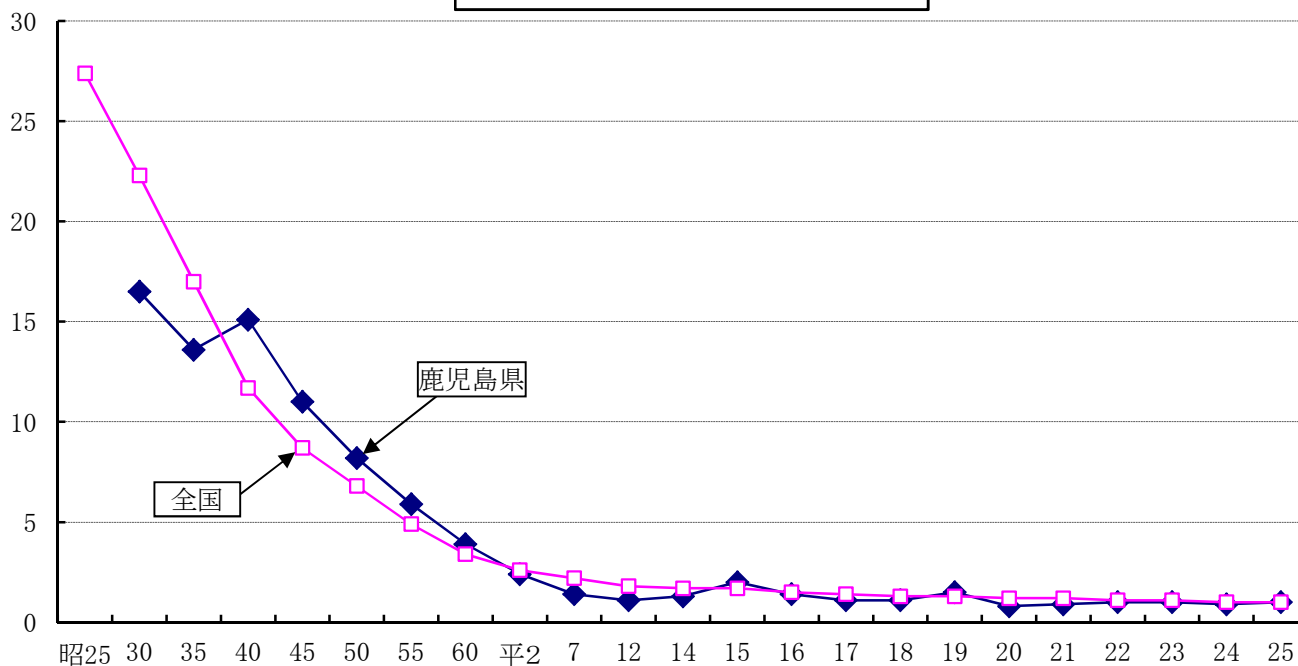
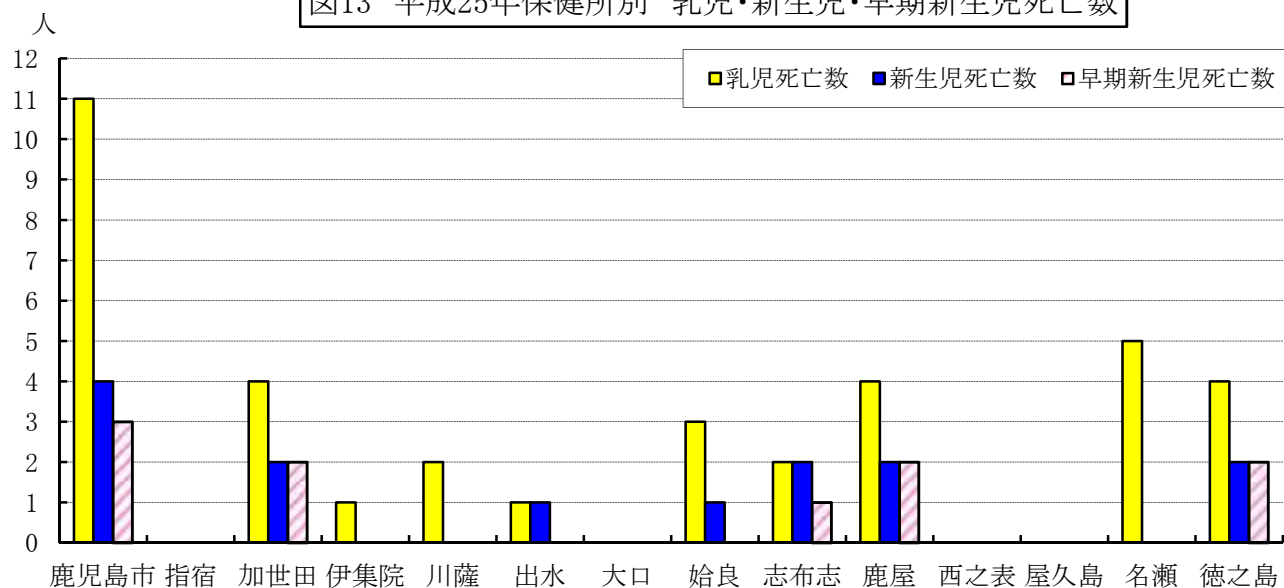


図13 平成25年保健所別 乳児・新生児・早期新生児死亡数



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県	全国
乳児死亡数	11	0	4	1	2	1	0	3	2	4	0	0	5	4	37	2,185
乳児死亡率	1.9	0.0	6.4	1.7	1.9	1.3	0.0	1.5	3.1	2.8	0.0	0.0	8.2	9.8	2.5	2.1
新生児死亡数	4	0	2	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	2	14	1,026
新生児死亡率	0.7	0.0	3.2	0.0	0.0	1.3	0.0	0.5	3.1	1.4	0.0	0.0	0.0	4.9	1.0	1.0
早期新生児死亡数	3	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	10	752
早期新生児死亡率	0.5	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.4	0.0	0.0	0.0	4.9	0.7	0.7
出生数	5,647	349	628	576	1,078	749	211	1,962	653	1,427	227	111	609	410	14,637	1,029,816

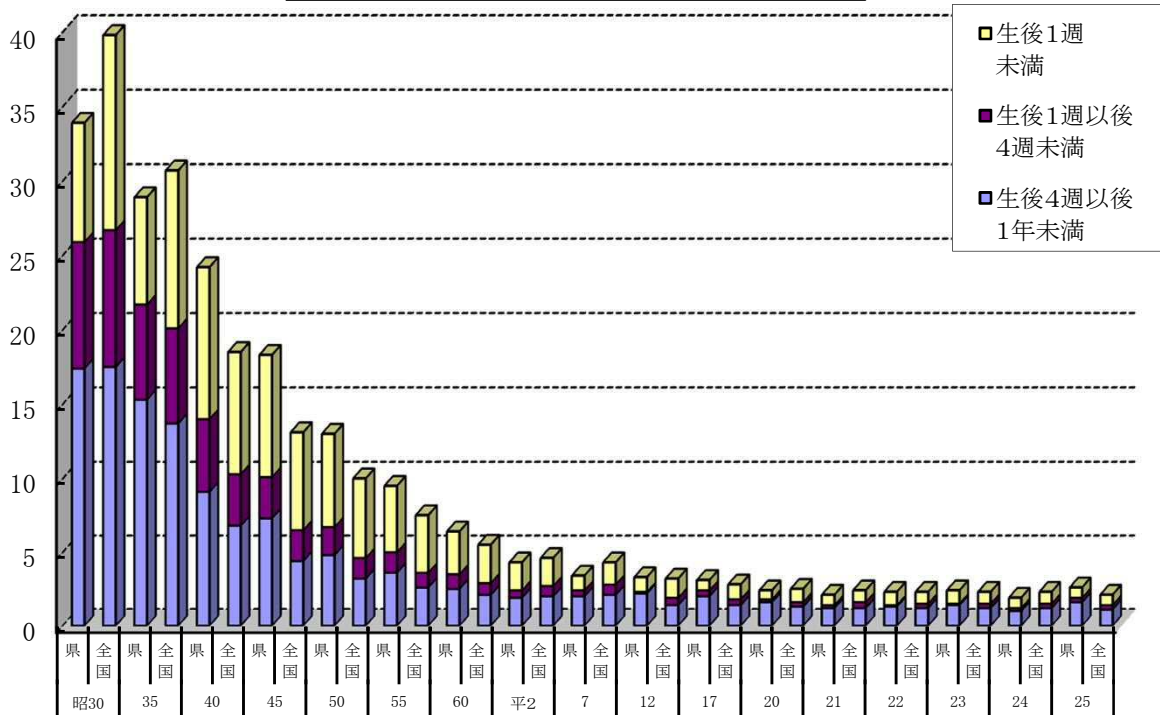
資料:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 生存期間別乳児死亡

生存期間別乳児死亡率の年次推移については、低率で推移している。
 平成25年については、生後1週未満の早期新生児死亡率は0.7、生後1週以後4週未満の新生児死亡率は0.3、生後4週以後1年未満の乳児死亡率は1.6であり、全国より高率であった。
 また、生存期間別に乳児死亡割合をみると、約4人に1人(27.0%)が早期新生児死亡である。

出生千対

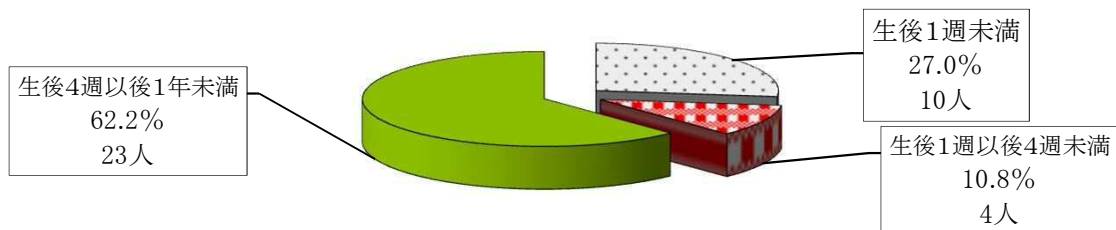
図14 生存期間別乳児死亡率年次推移



区 分	昭30		35		40		45		50		55		60		平2		7		12		17		20		21		22		23		24		25	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
生後4週以後1年未満	17.4	17.5	15.3	13.7	9.1	6.8	7.3	4.4	4.8	3.2	3.6	2.6	2.5	2.1	1.9	2.0	2.0	2.1	2.2	1.4	2.0	1.4	1.6	1.3	1.2	1.2	1.3	1.2	1.4	1.2	1.0	1.2	1.6	1.1
生後1週以後4週未満	8.5	9.2	6.4	6.4	4.9	3.5	2.8	2.1	1.9	1.4	1.4	1.0	1.0	0.8	0.5	0.7	0.4	0.7	0.1	0.5	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3
生後1週未満	8.0	13.1	7.2	10.6	10.2	8.2	8.2	6.6	6.3	5.4	4.5	3.9	2.9	2.6	1.9	1.9	1.0	1.5	1.0	1.3	0.7	1.0	0.6	0.9	0.7	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
乳児死亡率	33.9	39.8	28.9	30.7	24.2	18.5	18.3	13.1	13.0	10.0	9.5	7.5	6.4	5.5	4.3	4.6	3.4	4.3	3.3	3.2	3.1	2.8	2.5	2.6	2.1	2.4	2.2	2.3	2.4	2.3	1.9	2.2	2.5	2.1

資料：厚生労働省「人口動態統計」

図15 生存期間別乳児死亡構成割合
(平成25年 乳児死亡数37人、本県)

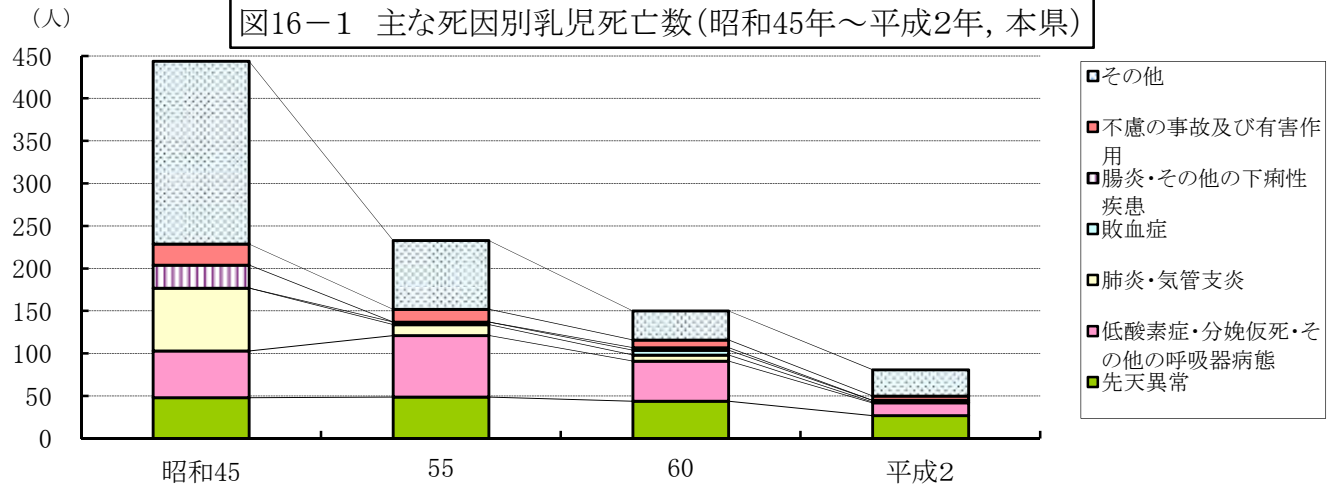


(3) 乳児死亡の原因

死因別死亡については、死因分類が変わった平成7年以前(図16-1)と、それ以降(図16-2)とに分けて示した。昭和40年代ごろまでは肺炎・気管支炎や腸炎・その他の下痢性疾患等の感染性の疾患が多かったが、次第に低酸素症・分娩仮死等の呼吸器疾患が多くなり、感染性の疾患は激減した。その後は、先天奇形等や周産期に発生した病態が多くなっている。

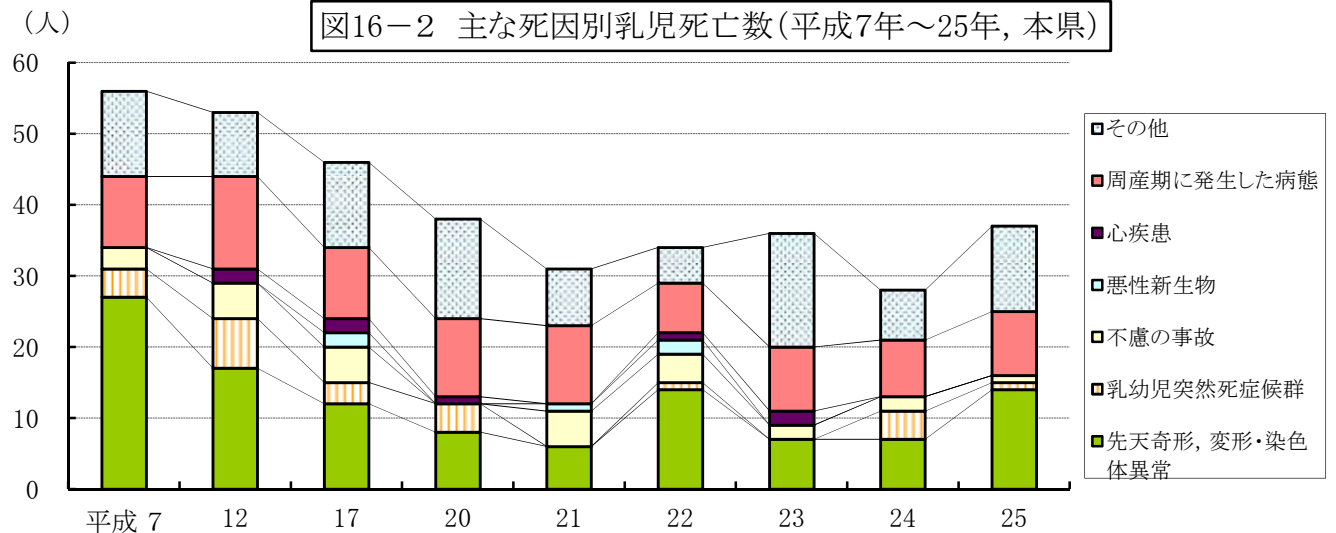
平成25年の死因別乳児死亡は、本県では「先天奇形、変形・染色体異常」が37.8%、次いで、「周産期に発生した病態」が24.3%、となっており「不慮の事故」は2.7%であった。

図16-1 主な死因別乳児死亡数(昭和45年～平成2年, 本県)



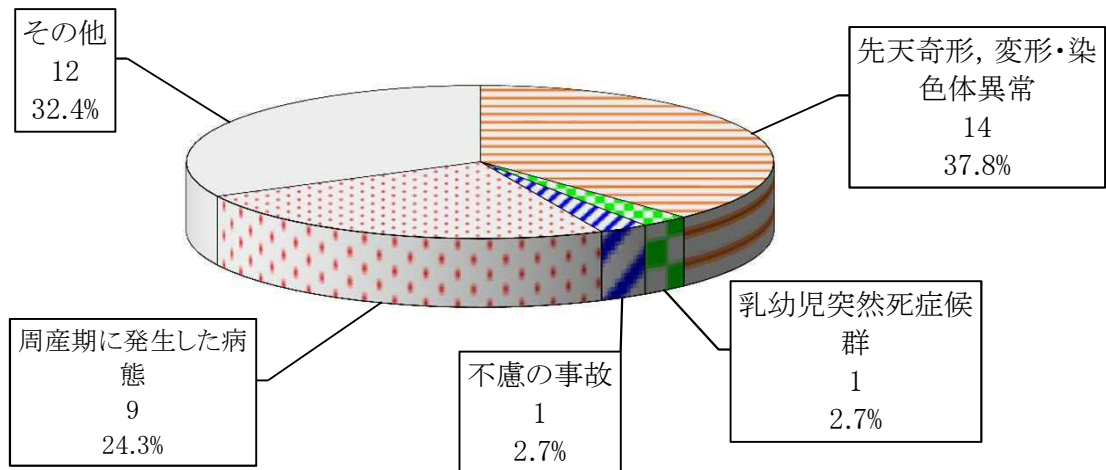
資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図16-2 主な死因別乳児死亡数(平成7年～25年, 本県)



資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図17 主な死因別乳児死亡数及び割合
(平成25年乳児死亡数37人, 本県)



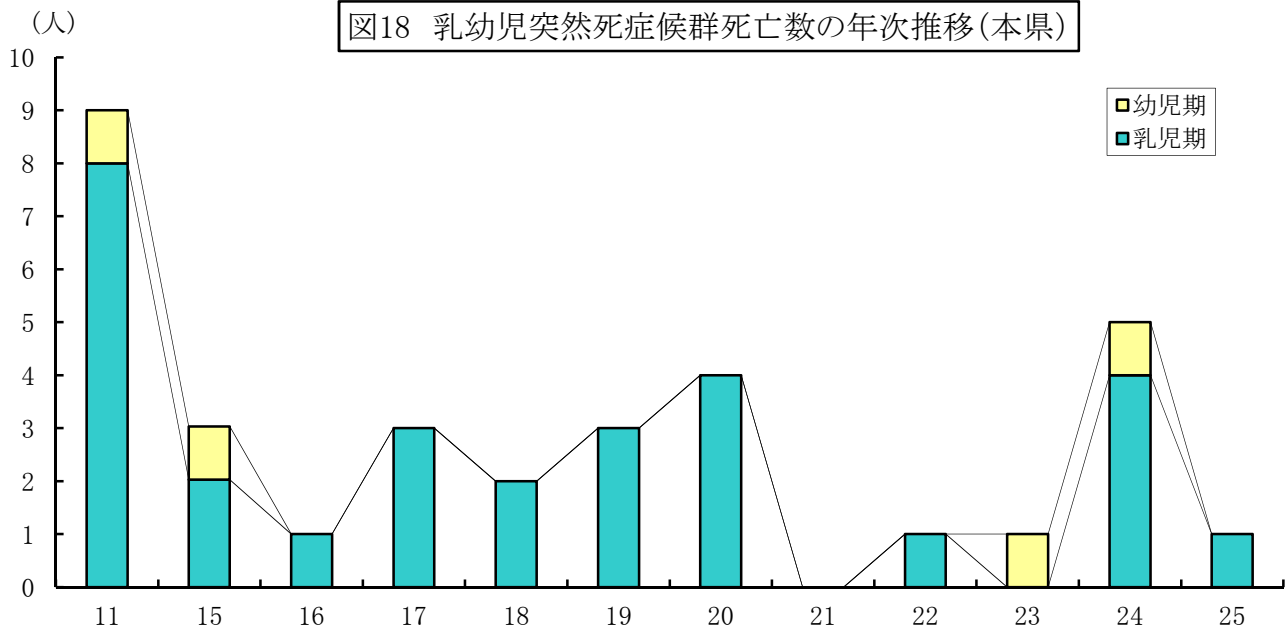
(4) 乳幼児突然死症候群(SIDS)

何の予兆や既往歴のない乳幼児に死をもたらす乳幼児突然死症候群は、その9割が乳児期に起こるといわれている。

全国的には、国が乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間を開始した平成11年度から平成19年まで年々減少傾向にあり、最近ではほぼ横ばいとなっている。平成25年は125人が死亡であった。

本県においては、平成25年は1人の死亡であった。

図18 乳幼児突然死症候群死亡数の年次推移(本県)



年度	11	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
鹿児島県	人 9 (8)	人 3 (2)	人 1 (1)	人 3 (3)	人 2 (2)	人 3 (3)	人 4 (4)	人 0 (0)	人 1 (1)	人 1 (0)	人 5 (4)	人 1 (1)
全 国	412	244	232	196	194	158	168	157	147	148	152	125

* ()は乳児期(1歳未満)の死亡数

資料:厚生労働省「人口動態統計」

4 周産期死亡

平成25年の本県の周産期死亡率は3.3であり、前年と比較して0.1ポイント減少しており、全国の3.7と比べても低率であった。
妊娠満22週以後の死産は、死産数38胎(死産率2.6)であり、妊娠週数別では、妊娠32週～36週の死産が15胎(39.5%)である。

図19 周産期死亡率の年次推移

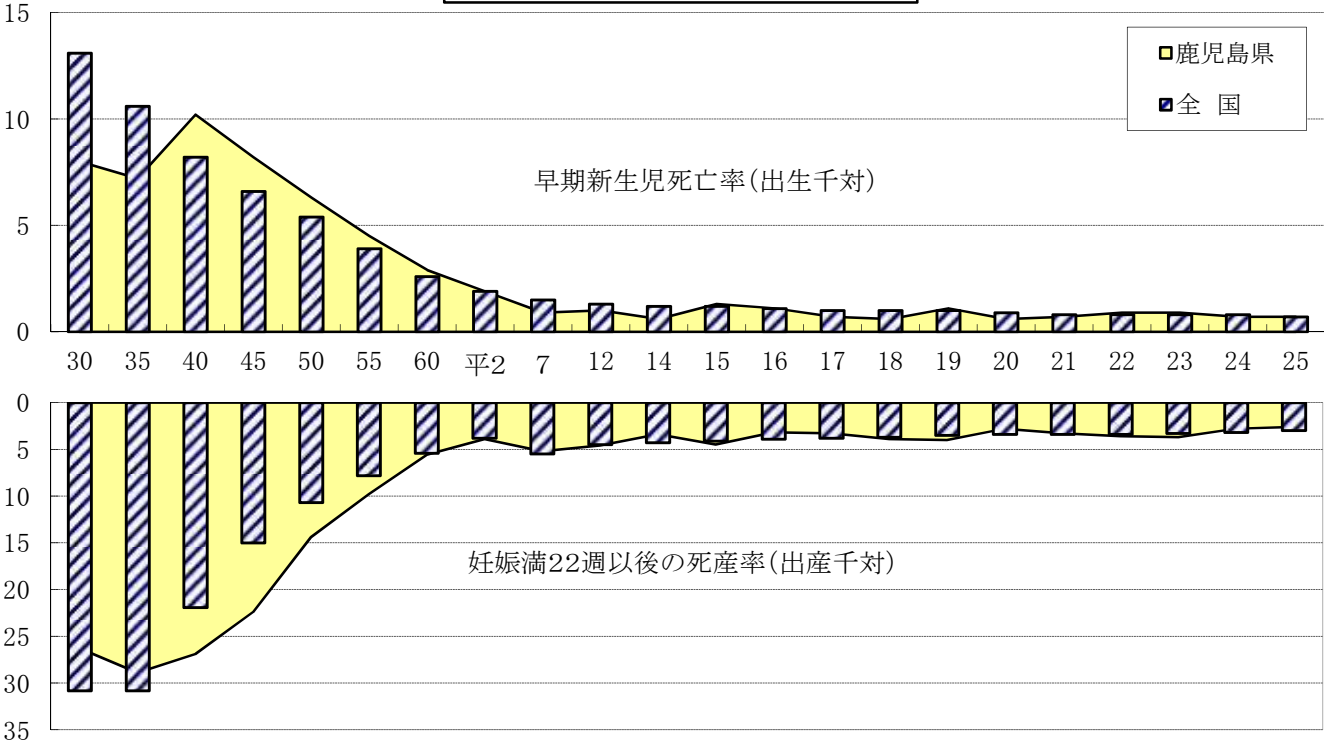


表3 周産期死亡数・率(出産千対), 早期新生児死亡数・率(出生千対)の年次推移

年次	鹿児島県						全 国		
	周産期死亡		妊娠満22週以後の死産		早期新生児死亡		周産期死亡率	妊娠満22週以後の死産率	早期新生児死亡率
	死亡数	死亡率	死産数	死産率	死亡数	死亡率			
昭25	人 —	—	人 —	—	人 —	—	46.6	31.5	15.1
30	1,712	34.3	1,312	26.3	400	8.0	43.9	30.8	13.1
35	1,364	36.1	1,092	28.9	272	7.2	41.4	30.8	10.6
40	1,083	37.0	786	26.9	297	10.2	30.1	21.9	8.2
45	744	30.6	545	22.4	199	8.2	21.7	15.0	6.6
50	505	20.6	358	14.4	154	6.3	16.0	10.7	5.4
55	349	14.2	240	9.8	110	4.5	11.7	7.8	3.9
60	197	8.4	130	5.6	67	2.9	8.0	5.4	2.6
平2	108	5.7	73	3.9	35	1.9	5.7	3.8	1.9
7	105	6.3	89	5.2	16	0.9	7.1	5.5	1.5
12	92	5.6	76	4.6	16	1.0	5.8	4.5	1.3
14	62	3.9	53	3.4	9	0.6	5.5	4.3	1.2
15	90	5.8	70	4.5	20	1.3	5.3	4.1	1.2
16	66	4.3	49	3.2	17	1.1	5.0	3.9	1.1
17	60	4.0	49	3.3	11	0.7	4.8	3.8	1.0
18	68	4.5	59	3.9	9	0.6	4.7	3.7	1.0
19	76	5.0	60	4.0	16	1.1	4.5	3.5	1.0
20	53	3.4	43	2.8	10	0.6	4.3	3.4	0.9
21	60	4.0	50	3.3	10	0.7	4.2	3.4	0.8
22	67	4.4	54	3.6	13	0.9	4.2	3.4	0.8
23	69	4.5	56	3.7	13	0.9	4.1	3.3	0.8
24	51	3.4	41	2.8	10	0.7	4.0	3.2	0.8
25	48	3.3	38	2.6	10	0.7	3.7	3.0	0.7

* 妊娠満22週以後の死産は、平成6年までは28週以後の死産であった。資料:厚生労働省「人口動態統計」

図20 平成25年周産期死亡数
県全体＝48人

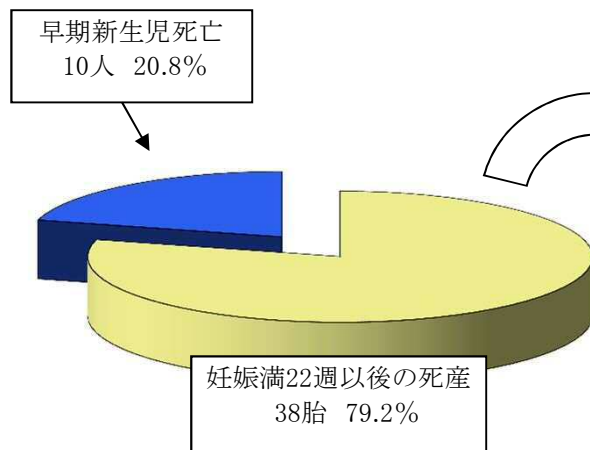


図21 平成25年妊娠満22週以後の
死産の妊娠期間別死産数と割合

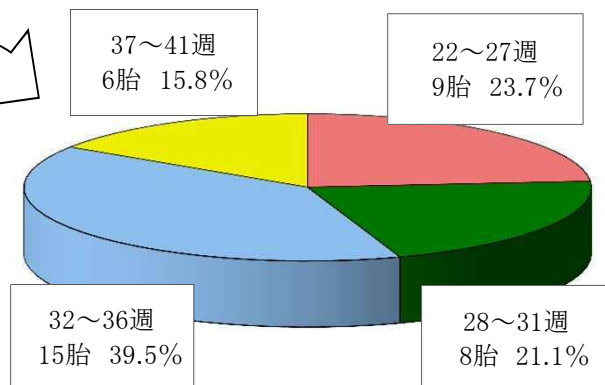
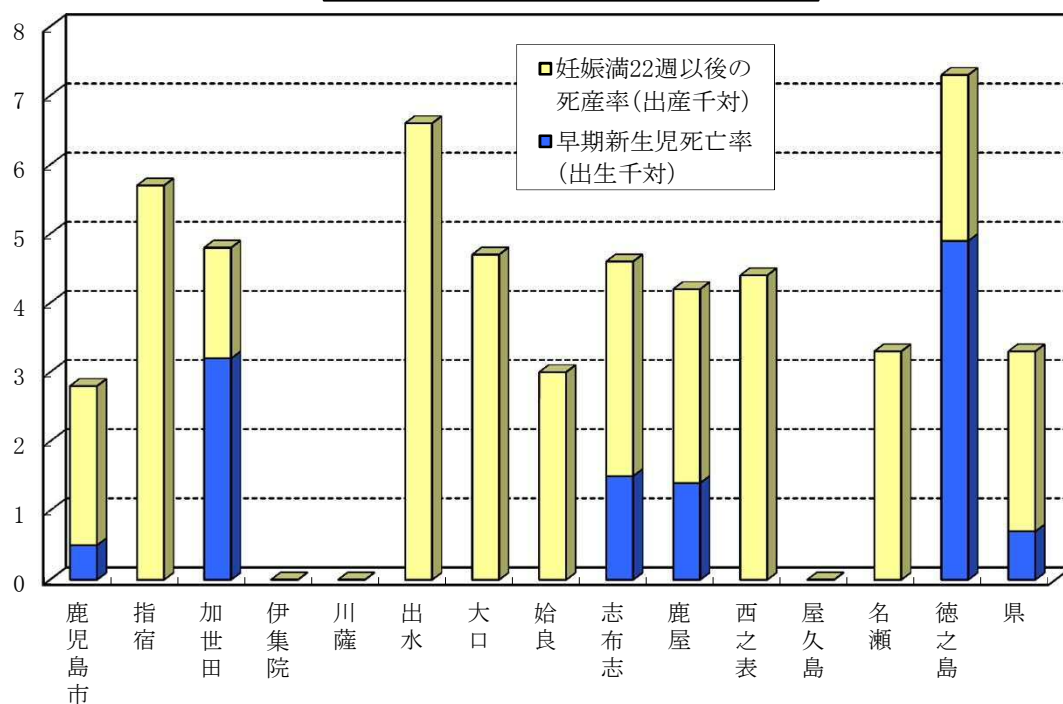


図22 平成25年保健所別周産期死亡率



保 健 所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
早期新生児死亡数	3	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	10
早期新生児死亡率 (出生千対)	0.5	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.4	0.0	0.0	0.0	4.9	0.7
妊娠満22週以後の 死産数	13	2	1	0	0	5	1	6	2	4	1	0	2	1	38
妊娠満22週以後の 死産率(出生千対)	2.3	5.7	1.6	0.0	0.0	6.6	4.7	3.0	3.1	2.8	4.4	0.0	3.3	2.4	2.6
周産期死亡数	16	2	3	0	0	5	1	6	3	6	1	0	2	3	48
周産期死亡率 (出生千対)	2.8	5.7	4.8	0.0	0.0	6.6	4.7	3.0	4.6	4.2	4.4	0.0	3.3	7.3	3.3

資料:厚生労働省「人口動態統計」

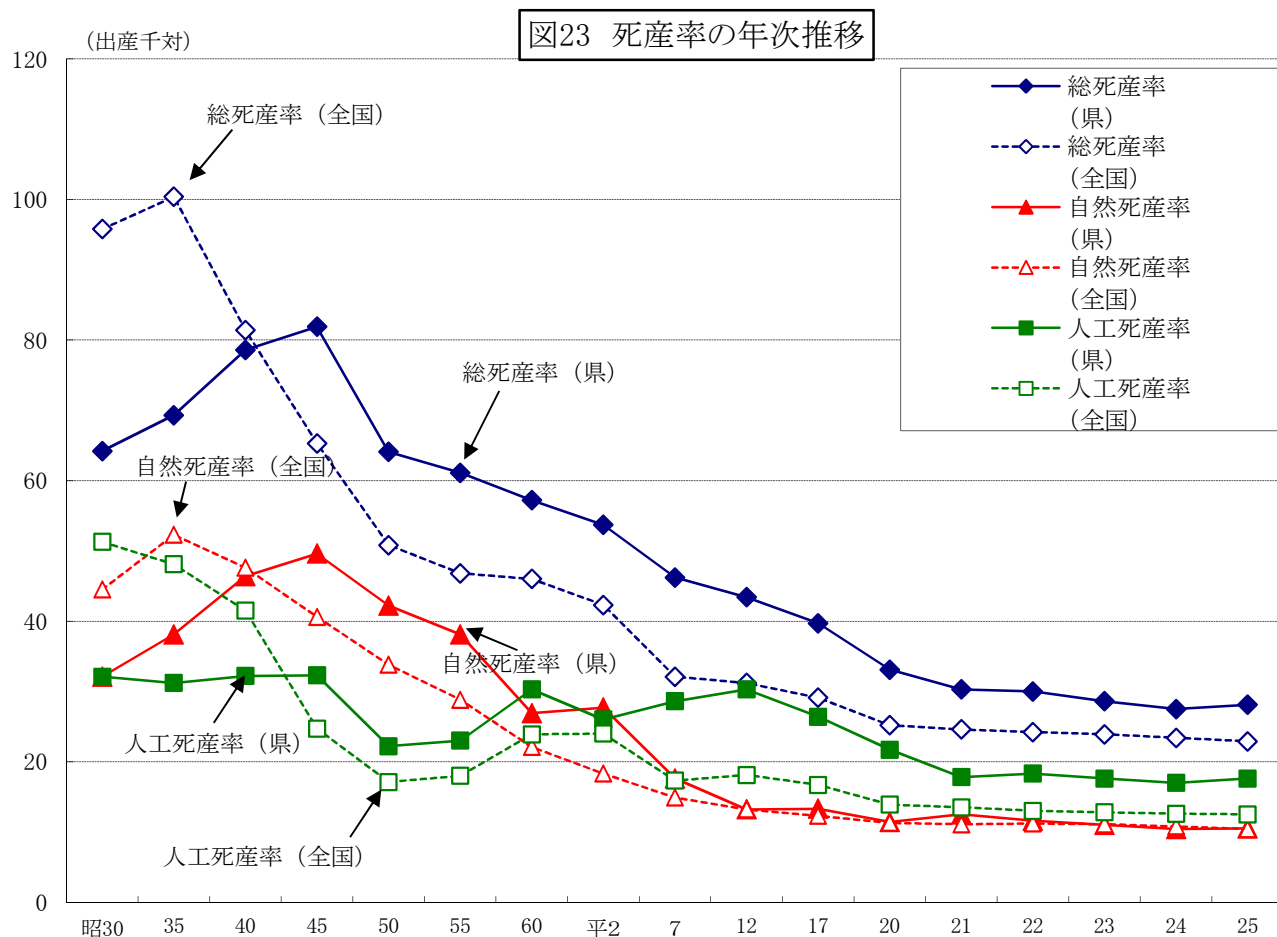
5 死産

(1) 死産率

本県の昭和30年以降の総死産率年次推移は、昭和45年の81.9をピークにその後は漸次減少傾向にあり、平成25年は28.1であったが、全国と比べると依然高率で推移している。

自然死産率は、昭和45年の49.6をピークに減少傾向にあり、平成25年は10.5で全国の10.4より0.1ポイント高かった。

人工死産率は、依然全国より高率で推移しており、平成25年についても17.6と全国の12.5と比べて高率であった。



区分	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	20	21	22	23	24	25
死産総数 (県)	3,426	2,818	2,496	2,167	1,692	1,596	1,417	1,072	806	739	613	529	466	467	449	419	423
自然死産数 (県)	1,712	1,550	1,473	1,313	1,109	903	667	553	306	224	205	182	192	181	173	159	158
人工死産数 (県)	1,714	1,268	1,023	854	583	603	750	519	500	515	408	347	274	286	276	260	265
総死産率 (県)	64.2	69.3	78.6	81.9	64.1	61.1	57.2	53.7	46.2	43.4	39.7	33.1	30.3	30.0	28.6	27.5	28.1
総死産率 (全国)	95.8	100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	25.2	24.6	24.2	23.9	23.4	22.9
自然死産率 (県)	32.1	38.1	46.4	49.6	42.2	38.1	26.9	27.7	17.6	13.2	13.3	11.4	12.5	11.6	11.0	10.4	10.5
自然死産率 (全国)	44.5	52.3	47.6	40.6	33.8	28.8	22.1	18.3	14.9	13.2	12.3	11.3	11.1	11.2	11.1	10.8	10.4
人工死産率 (県)	32.1	31.2	32.2	32.3	22.2	23.0	30.3	26.0	28.6	30.3	26.4	21.7	17.8	18.3	17.6	17.0	17.6
人工死産率 (全国)	51.3	48.1	41.5	24.7	17.1	18.0	23.9	24.0	17.3	18.1	16.7	13.9	13.5	13.0	12.8	12.6	12.5

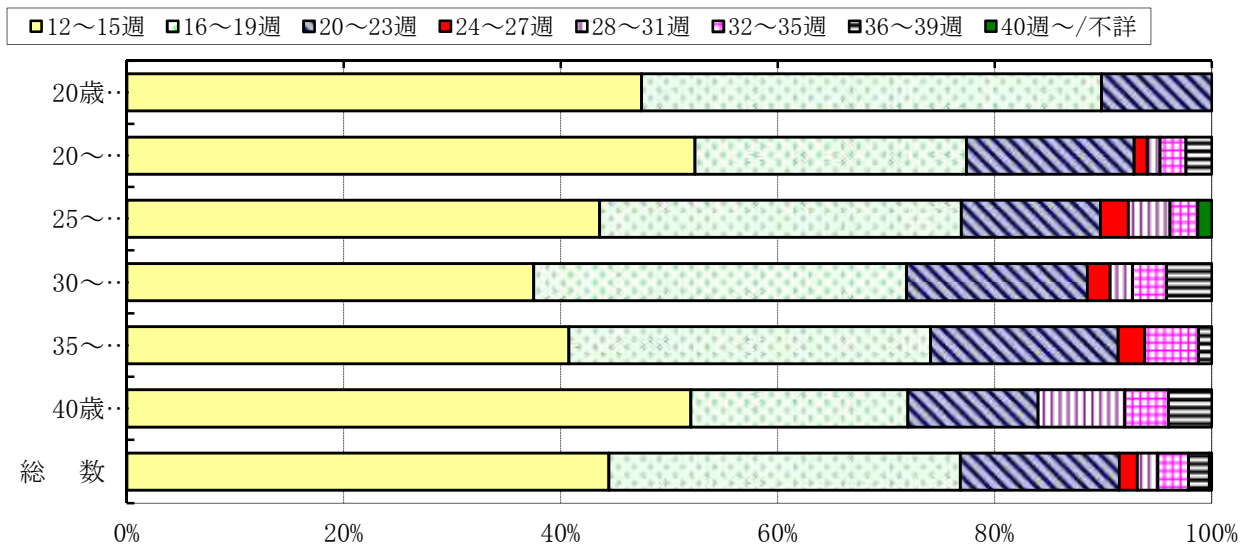
資料:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 母の年齢階級別・妊娠期間別死産

自然・人工死産別及び妊娠期間別にみると、自然死産では妊娠16～19週が33.5%と最も高く、人工死産は妊娠12～15週が51.3%と最も高かった(図25, 表4)。

年齢階級別には、自然死産では30～34歳が29.1%, 35歳～39歳が27.8%の順に高く、人工死産では20～24歳が24.2%, 20歳未満が20.8%の順に高かった(図26, 表5)。

図24 平成25年 年齢階級別死産の妊娠期間別割合(本県)



資料:厚生労働省「人口動態統計」

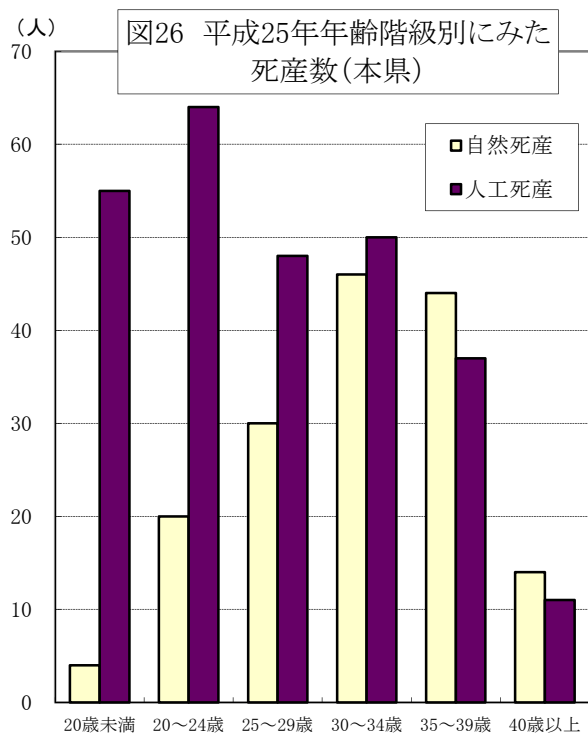
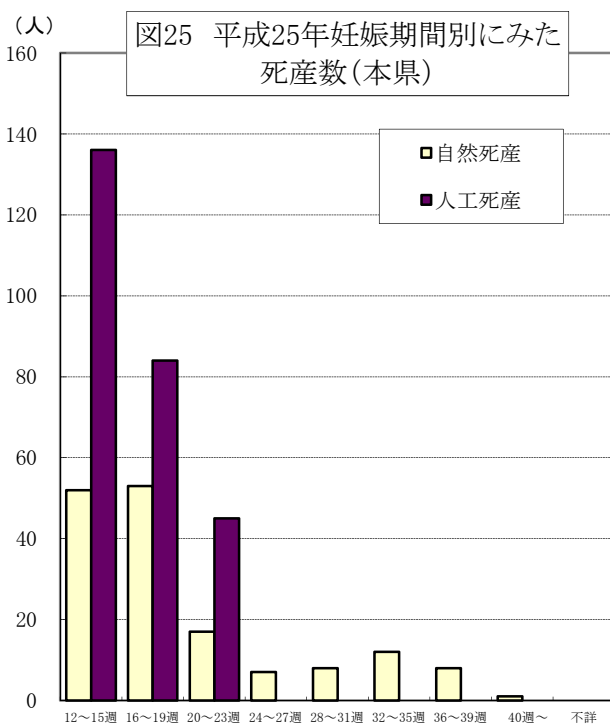


表4 平成25年妊娠期間別にみた死産数及び死産割合(本県)

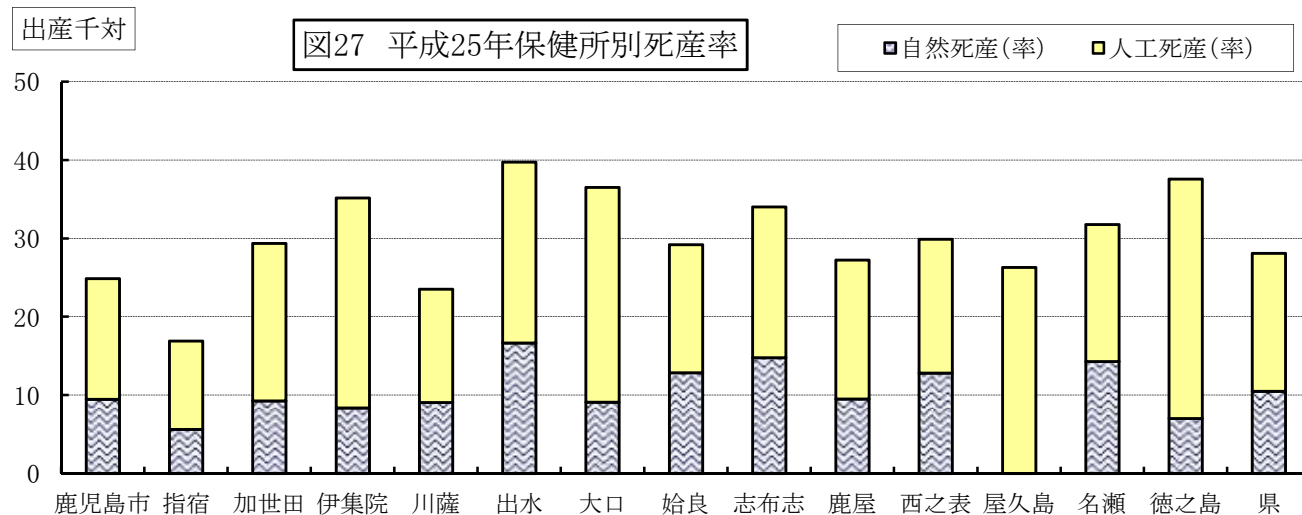
	総 数		自 然 死 産		人 工 死 産	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
12～15週	188	44.4	52	32.9	136	51.3
16～19週	137	32.4	53	33.5	84	31.7
20～23週	62	14.7	17	10.8	45	17.0
24～27週	7	1.7	7	4.4	0	0.0
28～31週	8	1.9	8	5.1	0	0.0
32～35週	12	2.8	12	7.6	0	0.0
36～39週	8	1.9	8	5.1	0	0.0
40週～	1	0.2	1	0.6	0	0.0
不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	423	100	158	100	265	100

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表5 平成25年年齢階級別にみた死産数及び死産割合(本県)

	総 数		自 然 死 産		人 工 死 産	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
20歳未満	59	13.9	4	2.5	55	20.8
20～24歳	84	19.9	20	12.7	64	24.2
25～29歳	78	18.4	30	19.0	48	18.1
30～34歳	96	22.7	46	29.1	50	18.9
35～39歳	81	19.1	44	27.8	37	14.0
40歳以上	25	5.9	14	8.9	11	4.2
合計	423	100	158	100	265	100

資料:厚生労働省「人口動態統計」



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
自然死産(数)	55	2	6	5	10	13	2	26	10	14	3	-	9	3	158
自然死産(率)	9.5	5.6	9.3	8.4	9.1	16.7	9.1	12.9	14.8	9.5	12.8	-	14.3	7.0	10.5
人工死産(数)	89	4	13	16	16	18	6	33	13	26	4	3	11	13	265
人工死産(率)	15.4	11.3	20.1	26.8	14.5	23.1	27.4	16.3	19.2	17.7	17.1	26.3	17.5	30.5	17.6
総死産(数)	144	6	19	21	26	31	8	59	23	40	7	3	20	16	423
総死産(率)	24.9	16.9	29.4	35.2	23.6	39.7	36.5	29.2	34.0	27.3	29.9	26.3	31.8	37.6	28.1

資料:厚生労働省「人口動態統計」

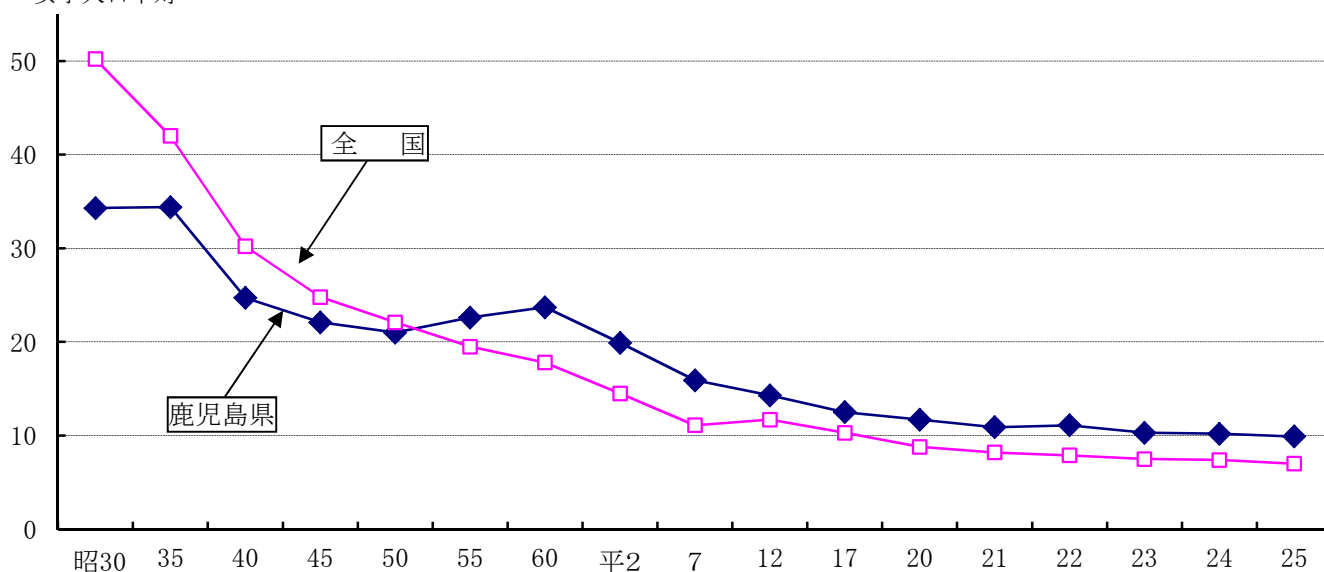
6 人工妊娠中絶

本県の人工妊娠中絶実施率は昭和50年ごろまでは、全国平均を下回っていたが、その後全国平均を上回り、平成25年度は全国より2.9ポイント高い9.9であった。

年齢階級別人工妊娠中絶件数でみると、30～34歳、20～24歳、25～29歳の順で多い。

15歳以上50歳未満
女子人口千対

図28 人工妊娠中絶実施率の年次推移

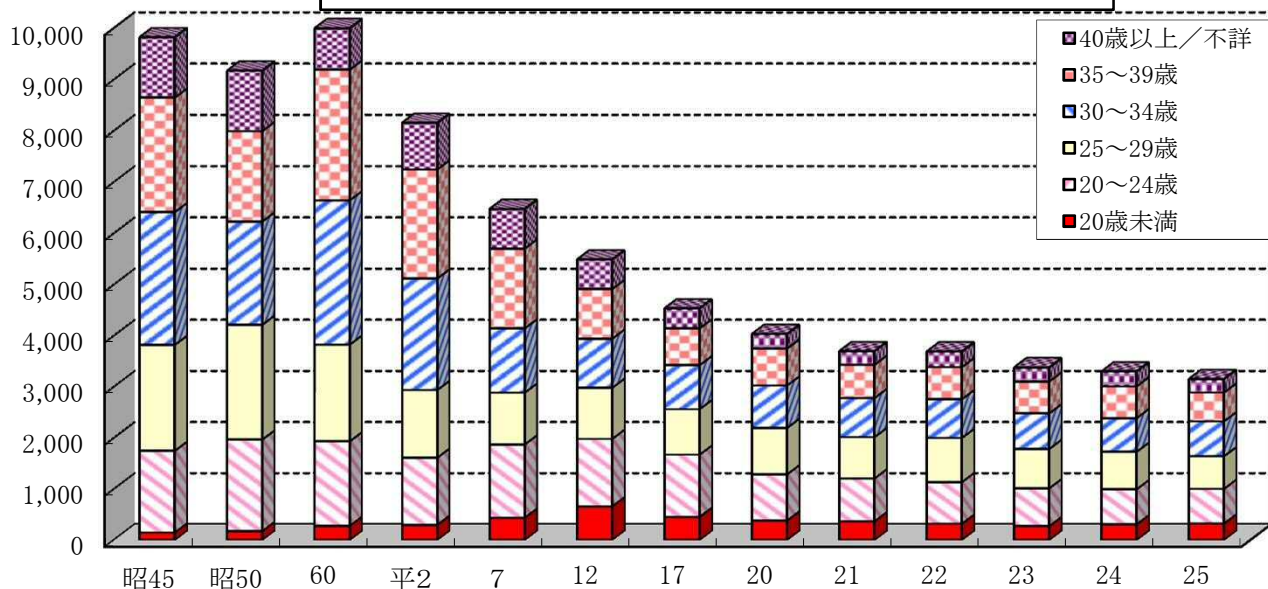


区 分	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	20	21	22	23	24	25
鹿児島県	34.3	34.4	24.7	22.1	21.0	22.6	23.7	19.9	15.9	14.3	12.5	11.7	10.9	11.1	10.3	10.2	9.9
全 国	50.2	42.0	30.2	24.8	22.1	19.5	17.8	14.5	11.1	11.7	10.3	8.8	8.2	7.9	7.5	7.4	7.0

資料:厚生労働省「母体保護統計報告」(～平成13年分:年計),「衛生行政報告例」(平成14年度分～:年度計)

件数

図29 年齢階級別人工妊娠中絶件数の年次推移(本県)



区 分	昭45	昭50	60	平2	7	12	17	20	21	22	23	24	25	H25年齢階級別中絶率
40歳以上/不詳	1,178	1,178	859	909	771	576	391	285	265	305	276	291	265	4.9(40～44歳)
35～39歳	2,233	1,763	2,547	2,127	1,560	971	719	722	651	627	623	621	563	11.0
30～34歳	2,594	2,017	2,819	2,181	1,257	961	861	829	765	759	696	659	684	14.3
25～29歳	2,073	2,246	1,892	1,325	1,014	999	890	909	809	864	770	733	637	15.2
20～24歳	1,599	1,791	1,653	1,314	1,433	1,321	1,217	902	838	813	741	687	680	18.9
20歳未満	149	177	281	299	439	660	456	386	370	323	274	309	324	7.9
合計	9,826	9,172	10,051	8,155	6,474	5,488	4,534	4,033	3,698	3,691	3,380	3,302	3,153	9.9

資料:厚生労働省「母体保護統計報告」(～平成13年分:年計),「衛生行政報告例」(平成14年度分～:年度計)

表6 人工妊娠中絶件数と実施率

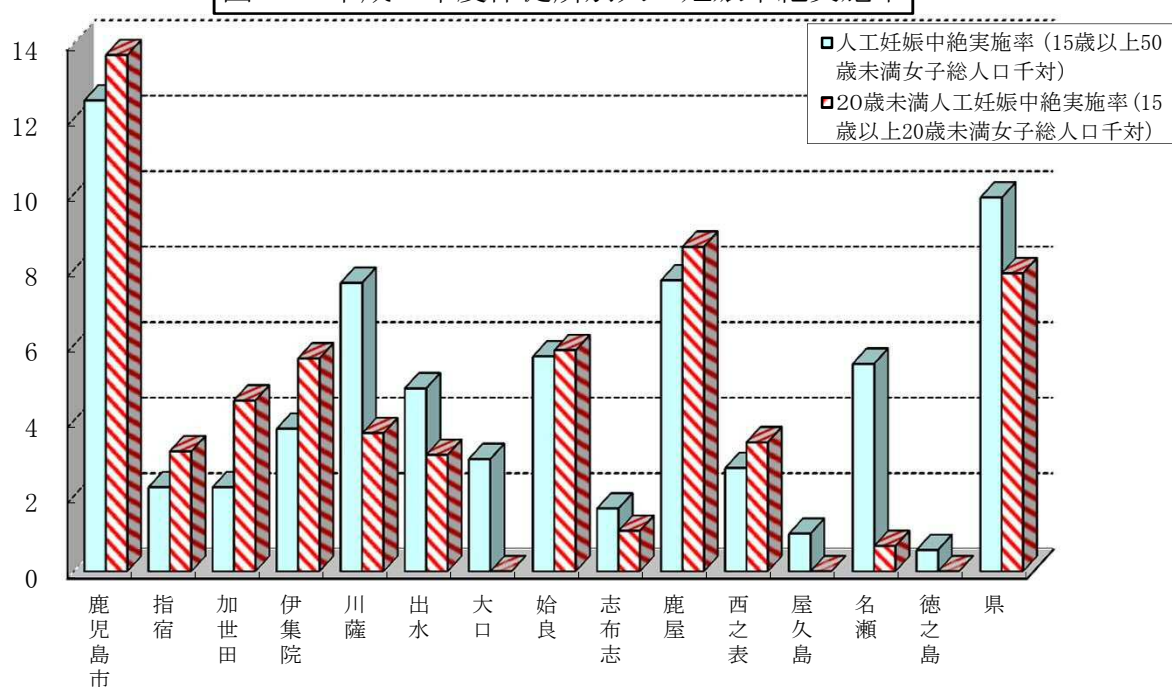
年度	人工妊娠中絶件数と実施率 (15歳以上50歳未満女子総人口千対)			20歳未満中絶件数と実施率 (15歳以上20歳未満女子総人口千対)			15歳以上 20歳未満 女子総人口 (県)
	鹿 児 島 県		全国(率)	鹿 児 島 県		全国(率)	
	総件数	率		総件数	率		
昭40	11,313	24.7	30.2	135	1.7	2.5	78,115
45	9,826	22.1	24.8	149	1.9	3.2	77,134
50	9,172	21.1	22.1	177	2.5	3.1	69,796
55	9,740	22.6	19.5	279	4.4	4.7	63,321
60	10,051	23.7	17.8	281	4.7	6.4	59,982
平2	8,155	19.9	14.5	299	4.8	6.6	61,928
7	6,474	15.9	11.1	439	7.2	6.2	60,583
12	5,488	14.3	11.7	660	11.6	12.1	56,975
17	4,534	12.5	10.3	456	9.3	9.4	49,040
20	4,033	11.7	8.8	386	8.4	7.6	45,669
21	3,698	10.9	8.2	370	8.4	7.1	44,370
22	3,691	11.1	7.9	323	7.6	7.0	42,224
23	3,380	10.3	7.5	274	6.5	7.1	42,331
24	3,302	10.2	7.4	309	7.4	7.0	41,747
25	3,153	9.9	7.0	324	7.9	6.6	40,965

資料：厚生労働省「母体保護統計報告」(～平成13年分)、「衛生行政報告例」(平成14年度分～)，

総務省国勢調査，本県統計課鹿児島県年齢別推計人口調査

注)20歳未満の女子人口で国調年以外の数値は，本県統計課鹿児島県年齢別推計人口調査による。

図30 平成25年度保健所別人工妊娠中絶実施率



区 分	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
中絶件数	1,934	21	59	87	209	110	17	311	31	269	16	2	82	5	3,153
人工妊娠中絶実施率	12.5	2.2	2.2	3.8	7.6	4.9	3.0	5.7	1.7	7.7	2.7	1.0	5.5	0.6	9.9
20歳未満中絶件数	212	3	12	13	10	7	0	32	2	30	2	0	1	0	324
20歳未満人工妊娠中絶実施率	13.7	3.2	4.5	5.6	3.7	3.1	0.0	5.9	1.1	8.6	3.4	0.0	0.7	0.0	7.9

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」(平成25年度分)，鹿児島県年齢別人口調査結果報告(平成25年10月1日現在)

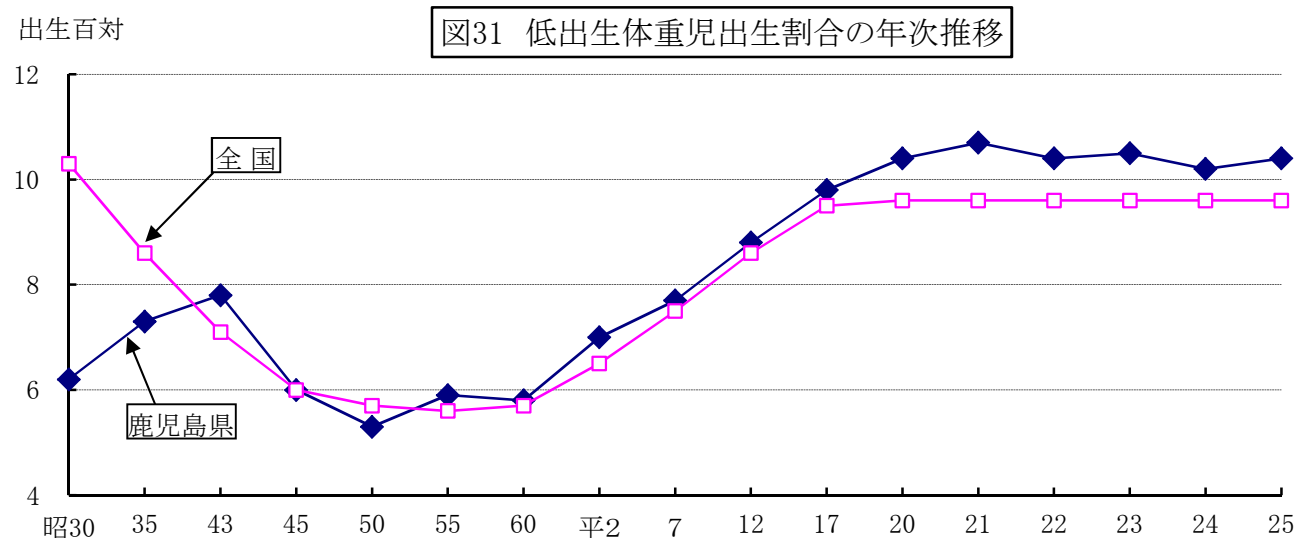
注)県計の実施率は，厚生労働省「衛生行政報告例」(平成25年度分)による。

注)各保健所ごとの実施率は，「鹿児島県年齢別人口調査結果報告書」(平成25年10月1日現在)を基に子ども福祉課で算出

7 低出生体重児

(1) 低出生体重児出生割合

本県の2,500g未満の低出生体重児出生割合は10.4と全国の9.6より高く、また全国を上回って推移している。

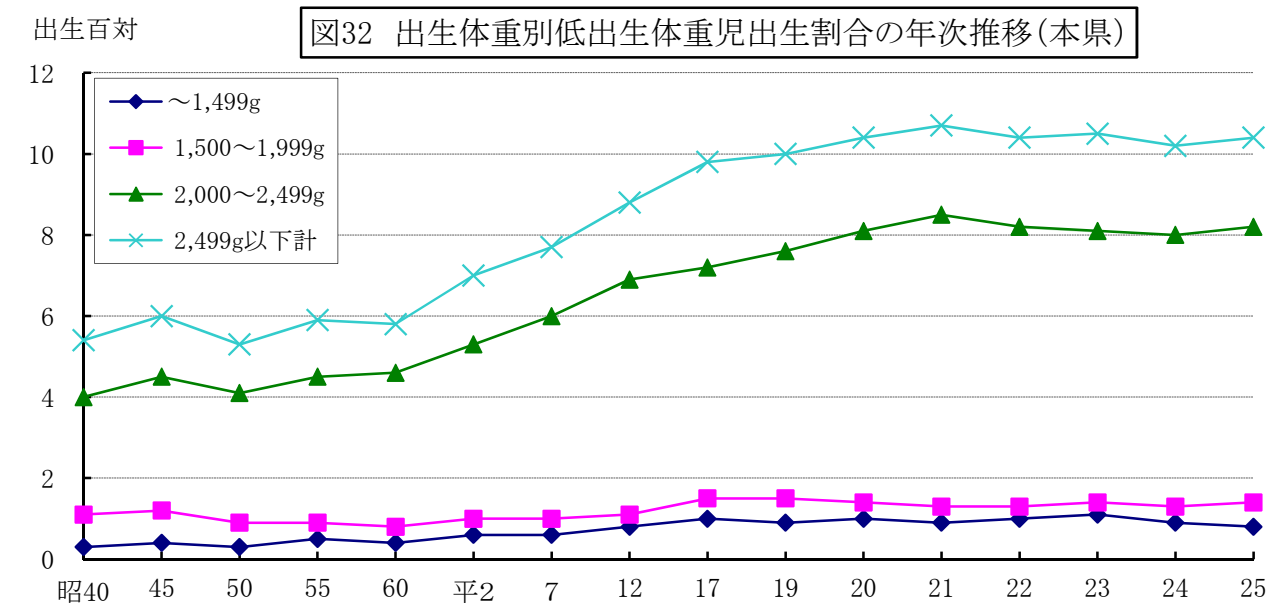


区分	昭30	35	43	45	50	55	60	平2	7	12	17	20	21	22	23	24	25
鹿児島県	6.2	7.3	7.8	6.0	5.3	5.9	5.8	7.0	7.7	8.8	9.8	10.4	10.7	10.4	10.5	10.2	10.4
全 国	10.3	8.6	7.1	6.0	5.7	5.6	5.7	6.5	7.5	8.6	9.5	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6

*平成6年までは、低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。資料:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 出生体重別低出生体重児出生割合

本県の低出生体重児を出生体重別にみると、出生体重2,000g未満の割合は概ね横ばいで経過しているが、2,000g～2,499gの出生割合は若干の変動はあるものの増加傾向にあり、平成25年は8.2であった。



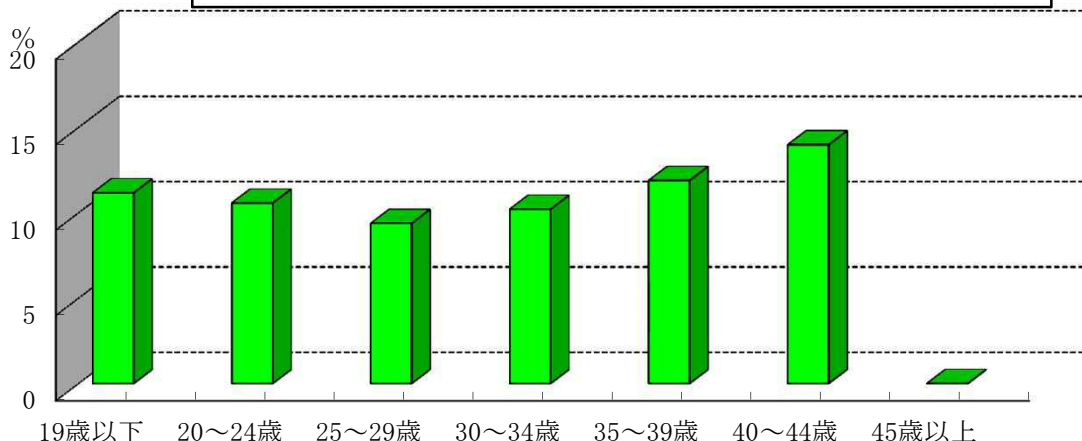
出生体重	昭40	45	50	55	60	平2	7	12	17	19	20	21	22	23	24	25
～1,499g	0.3	0.4	0.3	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0	1.1	0.9	0.8
1,500～1,999g	1.1	1.2	0.9	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4
2,000～2,499g	4.0	4.5	4.1	4.5	4.6	5.3	6.0	6.9	7.2	7.6	8.1	8.5	8.2	8.1	8.0	8.2
2,499g以下計	5.4	6.0	5.3	5.9	5.8	7.0	7.7	8.8	9.8	10.0	10.4	10.7	10.4	10.5	10.2	10.4

*平成6年までは低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。資料:厚生労働省「人口動態統計」

(3) 母の年齢階級別・子の出生体重別低出生体重児出生割合

母親の年齢階級別に低出生体重児出生割合をみると40～44歳の14.0%、35～39歳の11.9%の順に多かった。

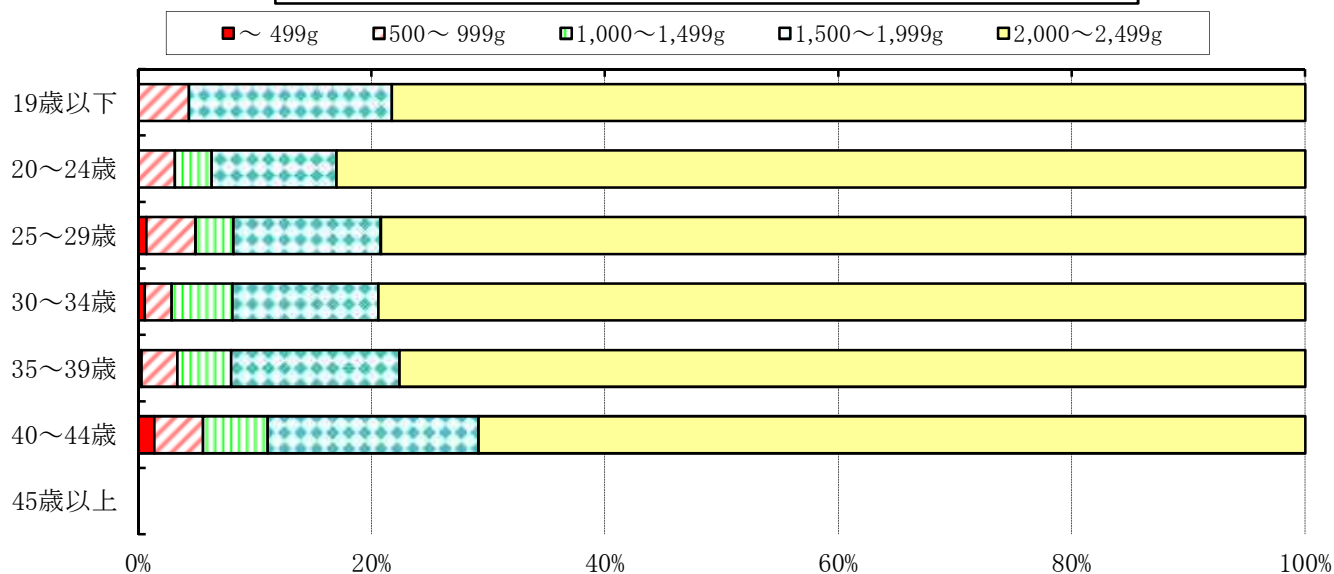
図33 平成25年母の年齢階級別低出生体重児出生割合(本県)



区分	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	計
2,500 g 未満 出生割合(%)	11.2	10.6	9.4	10.2	11.9	14.0	0.0	10.4
2,500 g 未満 出生数(人)	23	159	428	520	326	72	0	1,528
出生数(人)	206	1,505	4,565	5,096	2,742	515	8	14,632

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図34 平成25年母の年齢階級別・子の出生体重別割合(本県)

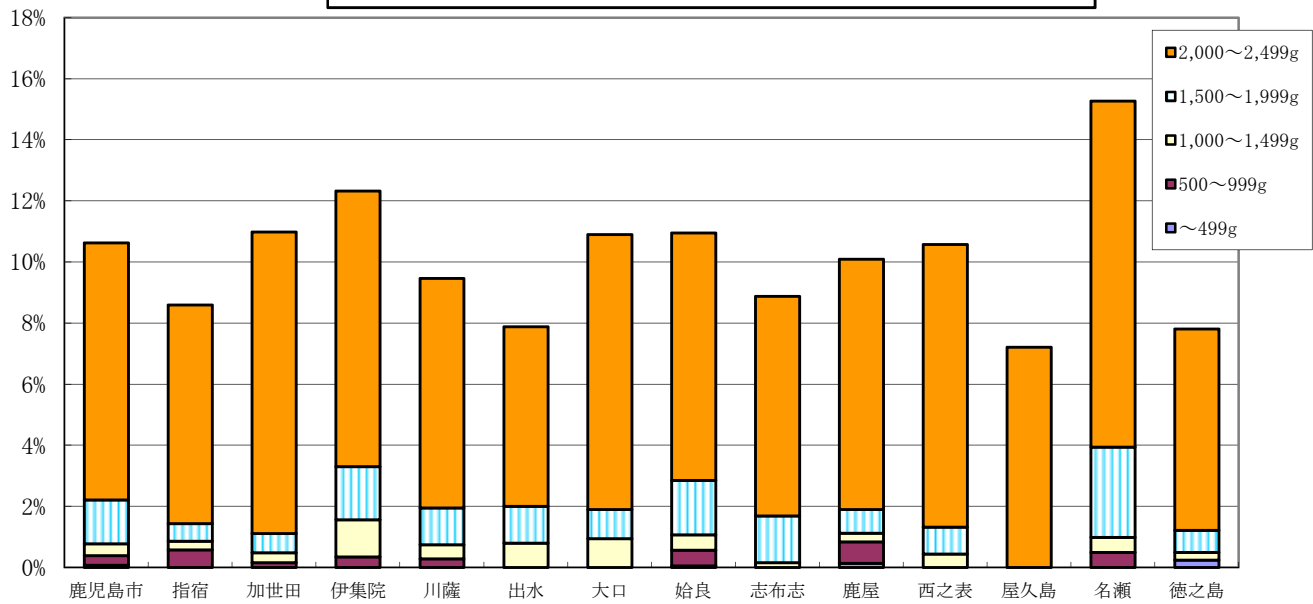


年齢	19歳以下		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45歳以上	
	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)
～499g	0	0.0	0	0.0	3	0.7	3	0.6	1	0.3	1	1.4	0	0.0
500～999g	1	4.3	5	3.1	18	4.2	12	2.3	10	3.1	3	4.2	0	0.0
1,000～1,499g	0	0.0	5	3.1	14	3.3	27	5.2	15	4.6	4	5.6	0	0.0
1,500～1,999g	4	17.4	17	10.7	54	12.6	65	12.5	47	14.4	13	18.1	0	0.0
2,000～2,499g	18	78.3	132	83.0	339	79.2	413	79.4	253	77.6	51	70.8	0	0.0
合 計	23	100	159	100	428	100	520	100	326	100	72	100	0	0.0

資料:厚生労働省「人口動態統計」

(出生数に対する割合)

図35 平成25年保健所別出生体重別低出生体重児出生割合



保健所 体重(g)		合計	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島
～499g	人	8	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1
	率	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
500～999g	人	49	18	2	1	2	3	0	0	10	0	10	0	0	3	0
	率	0.3	0.3	0.6	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0	0.5	0.0
1,000～1,499g	人	65	22	1	2	7	5	6	2	10	1	4	1	0	3	1
	率	0.4	0.4	0.3	0.3	1.2	0.5	0.8	0.9	0.5	0.2	0.3	0.4	0.0	0.5	0.2
1,500～1,999g	人	200	81	2	4	10	13	9	2	35	10	11	2	0	18	3
	率	1.4	1.4	0.6	0.6	1.7	1.2	1.2	0.9	1.8	1.5	0.8	0.9	0.0	3.0	0.7
2,000～2,499g	人	1,206	475	25	62	52	81	44	19	159	47	117	21	8	69	27
	率	8.2	8.4	7.2	9.9	9.0	7.5	5.9	9.0	8.1	7.2	8.2	9.3	7.2	11.3	6.6
計	人	1,528	600	30	69	71	102	59	23	215	58	144	24	8	93	32
	率	10.4	10.6	8.6	11.0	12.3	9.5	7.9	10.9	11.0	8.9	10.1	10.6	7.2	15.3	7.8
全出生数	人	14,637	5,647	349	628	576	1,078	749	211	1,962	653	1,427	227	111	609	410

(注)率は、出生数に対する低出生体重児の割合(単位:%)

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表7 出生児の体重別出生数の年次推移(本県)

(単位:人)

	総数	2,500g 未満 (再掲)	～499g	500 ～ 999g	1,000 ～ 1,499g	1,500 ～ 1,999g	2,000 ～ 2,499g	2,500 ～ 2,999g	3,000 ～ 3,999g	4,000g ～	不詳
昭和60	23,375	1,362	1	26	77	190	1,068	6,435	14,905	668	5
平成2	18,892	1,323	2	37	80	198	1,006	5,642	11,541	383	3
平成7	16,649	1,278	2	32	70	169	1,005	5,566	9,533	271	1
平成12	16,272	1,424	1	51	76	171	1,125	5,853	8,798	193	4
平成17	14,834	1,449	5	52	95	225	1,072	5,561	7,688	136	0
平成20	15,445	1,611	2	48	106	211	1,244	5,909	7,792	129	4
平成21	14,920	1,590	7	42	79	199	1,263	5,634	7,564	130	2
平成22	15,124	1,577	2	52	93	195	1,235	5,788	7,637	122	0
平成23	15,244	1,604	13	61	87	210	1,233	5,905	7,620	114	1
平成24	14,841	1,510	9	44	77	186	1,194	5,679	7,529	119	4
平成25	14,637	1,528	8	49	65	200	1,206	5,696	7,295	117	1

*平成6年までは、低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表8 低出生体重児出生割合全国比較

順位	H7年		H12年		H17年		H20		H21		H22		H23		H24		H25	
1	徳島	6.3	山形	7.6	山形	8.0	石川	8.2	石川	7.8	福井	8.5	山形	8.2	徳島	8.4	富山	8.1
2	富山	6.5	福井	7.7	福井	8.0	富山	8.5	山形	8.3	新潟	8.8	福井	8.2	石川	8.6	香川	8.3
3	長野	6.5	徳島	7.9	石川	8.5	新潟	8.6	福井	8.6	石川	8.8	香川	8.5	愛媛	8.6	福井	8.6
4	新潟	6.6	青森	7.9	三重	8.6	岡山	8.6	新潟	8.9	岡山	8.8	長崎	8.6	山形	8.8	山形	8.9
5	和歌山	6.6	新潟	7.9	徳島	8.6	三重	8.7	鳥取	8.9	富山	8.9	富山	8.7	福井	8.8	三重	8.9
6	奈良	6.7	愛媛	7.9	宮城	8.7	徳島	8.7	岩手	9.0	山形	9.0	岡山	8.8	長崎	8.8	長崎	8.9
7	山形	6.7	石川	8.1	秋田	8.7	山形	8.9	福島	9.0	奈良	9.1	石川	8.9	富山	8.9	熊本	8.9
8	岩手	6.7	鳥取	8.1	富山	8.7	大分	8.9	茨城	9.0	愛媛	9.1	徳島	8.9	三重	8.9	岡山	9.0
9	福井	6.9	長崎	8.1	新潟	8.8	千葉	9.0	佐賀	9.0	宮城	9.2	大分	8.9	和歌山	8.9	愛媛	9.0
10	滋賀	6.9	京都	8.1	滋賀	8.9	鳥取	9.0	北海道	9.1	千葉	9.2	新潟	9.0	奈良	9.0	和歌山	9.1
11	香川	6.9	千葉	8.2	鳥取	8.9	岩手	9.1	宮城	9.1	三重	9.2	三重	9.0	岡山	9.1	石川	9.2
12	青森	7.0	三重	8.2	岡山	8.9	福島	9.1	長崎	9.1	和歌山	9.2	岩手	9.1	佐賀	9.1	青森	9.3
13	秋田	7.0	秋田	8.2	千葉	9.0	香川	9.1	青森	9.2	岐阜	9.3	福島	9.1	大分	9.1	千葉	9.3
14	群馬	7.0	福島	8.3	香川	9.0	愛媛	9.1	千葉	9.2	熊本	9.3	佐賀	9.1	岩手	9.3	新潟	9.3
15	岐阜	7.0	大分	8.3	愛媛	9.1	宮城	9.2	三重	9.2	岩手	9.4	千葉	9.2	千葉	9.3	大分	9.3
16	宮城	7.1	香川	8.3	長崎	9.1	岐阜	9.2	香川	9.2	群馬	9.4	奈良	9.2	東京	9.3	東京	9.4
17	愛媛	7.1	島根	8.3	福島	9.2	福井	9.3	愛媛	9.2	東京	9.4	熊本	9.2	新潟	9.3	神奈川	9.4
18	岡山	7.1	岩手	8.3	大分	9.2	青森	9.4	群馬	9.3	滋賀	9.4	群馬	9.3	長野	9.3	岐阜	9.4
19	兵庫	7.2	熊本	8.3	青森	9.3	群馬	9.4	滋賀	9.3	香川	9.4	青森	9.4	香川	9.3	滋賀	9.4
20	千葉	7.3	滋賀	8.3	島根	9.3	埼玉	9.4	奈良	9.3	青森	9.5	埼玉	9.4	鳥取	9.4	大阪	9.4
21	熊本	7.3	宮城	8.3	岩手	9.4	滋賀	9.4	埼玉	9.4	埼玉	9.5	愛媛	9.4	青森	9.5	山口	9.4
22	大分	7.3	長野	8.4	茨城	9.4	島根	9.4	岐阜	9.4	大分	9.5	宮城	9.5	宮城	9.5	長野	9.5
23	高知	7.3	奈良	8.4	東京	9.4	広島	9.4	和歌山	9.4	福島	9.6	茨城	9.5	秋田	9.5	群馬	9.6
24	神奈川	7.4	和歌山	8.4	広島	9.4	長野	9.5	岡山	9.4	茨城	9.6	東京都	9.5	埼玉	9.5	埼玉	9.6
25	京都	7.5	兵庫	8.5	神奈川	9.5	北海道	9.6	大分	9.4	神奈川	9.6	神奈川	9.6	岐阜	9.5	愛知	9.6
26	鳥取	7.5	群馬	8.5	岐阜	9.5	茨城	9.6	東京	9.5	兵庫	9.6	愛知	9.6	大阪	9.5	奈良	9.6
27	埼玉	7.5	佐賀	8.6	奈良	9.5	東京	9.6	徳島	9.5	広島	9.6	兵庫	9.6	兵庫	9.5	広島	9.6
28	愛知	7.6	岡山	8.6	和歌山	9.5	愛知	9.6	秋田	9.6	徳島	9.6	北海道	9.7	滋賀	9.6	北海道	9.7
29	福島	7.6	岐阜	8.6	熊本	9.5	神奈川	9.7	神奈川	9.6	長野	9.7	岐阜	9.7	広島	9.6	岩手	9.7
30	大阪	7.6	東京	8.7	埼玉	9.6	大阪	9.7	兵庫	9.6	大阪	9.7	大阪	9.7	北海道	9.7	茨城	9.7
31	長崎	7.6	富山	8.7	長野	9.6	兵庫	9.7	大阪	9.7	北海道	9.8	山口	9.7	福島	9.7	京都	9.7
32	佐賀	7.6	神奈川	8.7	佐賀	9.6	佐賀	9.7	京都	9.8	秋田	9.8	山梨	9.8	神奈川	9.7	兵庫	9.7
33	広島	7.6	大阪	8.7	北海道	9.7	長崎	9.7	広島	9.8	愛知	9.8	京都	9.8	熊本	9.7	島根	9.7
34	茨城	7.6	愛知	8.7	栃木	9.7	奈良	9.8	熊本	9.8	佐賀	9.8	福岡	9.8	茨城	9.8	佐賀	9.7
35	鹿児島	7.7	鹿児島	8.8	鹿児島	9.8	京都	9.9	山口	9.9	鳥取	9.9	秋田	9.9	群馬	9.8	宮城	9.8
36	東京	7.7	埼玉	8.8	群馬	9.8	和歌山	9.9	愛知	10.0	山口	9.9	滋賀	9.9	愛知	9.8	徳島	9.8
37	三重	7.8	広島	8.8	京都	9.8	熊本	9.9	福岡	10.0	長崎	9.9	和歌山	9.9	京都	9.8	鳥取	9.9
38	石川	7.8	宮崎	8.8	山口	9.8	栃木	10.1	富山	10.1	宮崎	10.0	鳥取	9.9	山口	9.8	秋田	10.0
39	島根	7.8	茨城	8.8	愛知	9.9	静岡	10.2	長野	10.1	京都	10.1	長野	10.0	福岡	9.9	福島	10.0
40	山口	7.9	山口	9.1	大阪	9.9	山口	10.2	高知	10.1	静岡	10.2	広島	10.0	宮崎	10.1	福岡	10.0
41	山梨	8.0	北海道	9.1	兵庫	9.9	福岡	10.2	静岡	10.3	福岡	10.2	静岡	10.1	静岡	10.2	山梨	10.2
42	北海道	8.0	高知	9.2	福岡	10.0	鹿児島	10.4	栃木	10.5	栃木	10.3	鹿児島	10.5	鹿児島	10.2	静岡	10.2
43	宮崎	8.0	静岡	9.3	宮崎	10.2	秋田	10.4	宮崎	10.6	鹿児島	10.4	栃木	10.5	栃木	10.5	鹿児島	10.4
44	静岡	8.3	栃木	9.4	高知	10.3	山梨	10.7	鹿児島	10.7	高知	10.5	高知	10.5	島根	10.5	宮崎	10.4
45	福岡	8.4	福岡	9.4	静岡	10.5	宮崎	10.7	島根	11.2	島根	10.7	宮崎	10.5	山梨	10.6	高知	10.7
46	栃木	8.8	山梨	9.8	山梨	10.6	沖縄	11.0	沖縄	11.5	山梨	11.2	沖縄	10.6	高知	11.2	栃木	11.0
47	沖縄	9.3	沖縄	10.3	沖縄	10.9	高知	11.3	山梨	11.6	沖縄	11.2	島根	10.8	沖縄	11.6	沖縄	11.4

資料：厚生労働省「人口動態統計」

8 20歳未満の不慮の事故死

本県の20歳未満の不慮の事故による死亡数は、平成25年は14人で、平成24年の13人より増加している。
内訳は交通事故が最も多く、また15～19歳の不慮の事故の死亡数は11人で、20歳未満の不慮の事故死亡総数の78.6%であった。

表9 不慮の事故死年齢階級別・死因別死亡数(平成7年～25年)(本県)

区 分	年次	交 事	通 故	転 落	不 慮 溺 死	の 及 水	不 慮 の 息	煙、火・ 火 災 へ の 曝 露	有 害 物 に 中 毒	そ の 他 の 不 慮 の 事 故	不 慮 死 亡 総 数 (A)	年 齢 階 級 別 死 亡 総 数 (B)	不 慮 死 亡 の 占 め る 割 合 A / B	(参考) H25国
0歳	H7						3				3	56	5.4	4.1
	H12						4			1	5	53	9.4	
	H17			1			3	1			5	46	10.9	
	H21	2					2			1	5	31	16.1	
	H22						4				4	34	11.8	
	H23						2				2	36	5.6	
	H24						2				2	28	7.1	
1～4歳	H7	2		2	3		5			2	14	38	36.8	14.1
	H12	1			1		2			1	5	24	20.8	
	H17	2		1				3			6	20	30.0	
	H21	1					2				3	16	18.8	
	H22	2			1						3	20	15.0	
	H23				1						1	11	9.1	
	H24				1						1	20	5.0	
5～9歳	H7	7			1			1		1	10	27	37.0	23.4
	H12	2		1	5						8	11	72.7	
	H17	3		1	3		1	1			9	21	42.9	
	H21	1			1						2	11	18.2	
	H22	3		1	1						5	10	50.0	
	H23	1			1						2	7	28.6	
	H24			1	1			1			3	11	27.3	
10～14歳	H7			1	4						5	22	22.7	14.3
	H12	1			1			1			3	10	30.0	
	H17	1			1			1	4		7	16	43.8	
	H21	0			1		1				2	7	28.6	
	H22	1					1				2	7	28.6	
	H23				1						1	9	11.1	
	H24									2	2	10	20.0	
15～19歳	H7	23		4	2						29	49	59.2	26.5
	H12	13						1			14	39	35.9	
	H17	7					1	1		1	10	24	41.7	
	H21	6			1				1		8	12	66.7	
	H22	5			3						8	16	50.0	
	H23	3		1			1				5	26	19.2	
	H24	4					1				5	14	35.7	
合計	H7	32		7	10		8	1		3	61	192	31.8	11.2
	H12	17		1	7		6	2	1	2	35	137	25.5	
	H17	13		3	4		5	7	4	1	37	127	29.1	
	H21	10		1	3		4		1	1	20	77	26.0	
	H22	11		1	5		5				22	87	25.3	
	H23	4		1	3		3				11	89	12.4	
	H24	4		1	2		3	1		2	13	83	15.7	
	H25	11		1	1		1	0	0	0	14	84	16.7	

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

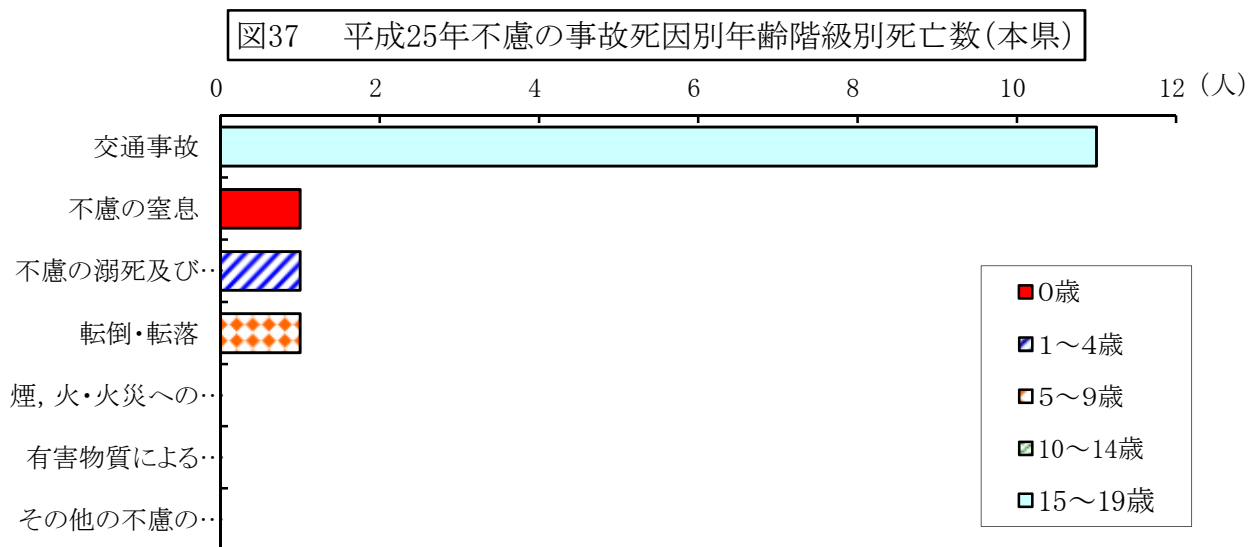
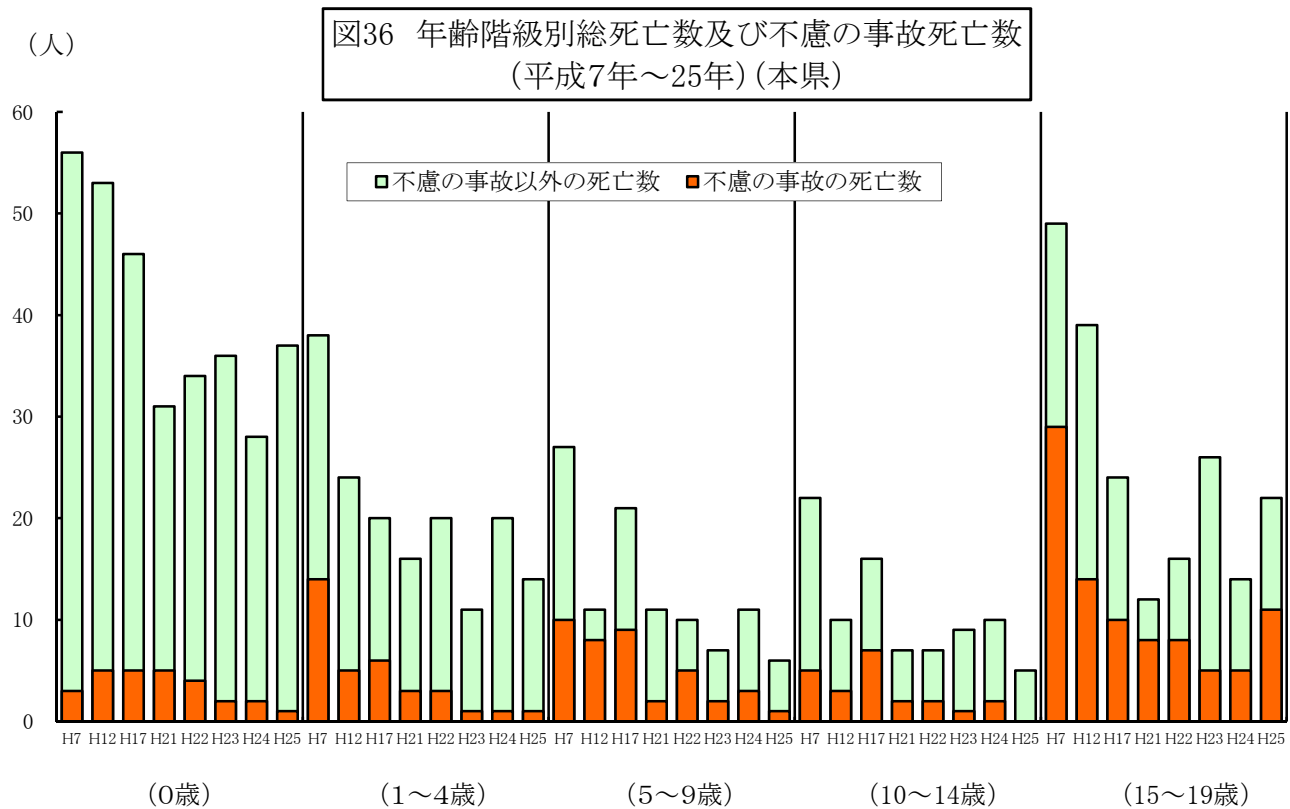
表10 不慮の事故年齢階級別死亡率

当該年齢人口10万対、ただし、0歳児は出生10万対

区分	0歳		1～4歳		5～9歳		10～14歳		15～19歳	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
H19(H14～18)	18.7	11.7	8.5	4.1	6.2	2.6	3.8	2.1	13.8	8.7
H20(H15～19)	19.0	13.2	7.0	3.8	6.3	2.2	4.1	1.9	11.9	7.7
H21(H16～20)	15.9	11.6	6.5	3.5	5.9	2.4	4.2	1.6	11.5	7.6
H22(H17～21)	18.6	10.5	4.9	3.6	4.7	2.3	3.5	2.1	9.0	7.0
H23(H18～22)	17.2	18.9	4.0	9.1	3.8	6.5	2.5	4.8	8.9	11.0
H24(H19～23)	15.9	10.6	4.0	2.9	3.9	1.9	2.4	1.6	8.0	5.7
H25(H20～24)	17.2	8.6	3.4	2.6	3.6	2.0	1.9	1.2	8.2	5.6

資料:厚生労働省「人口動態調査」

注)本県データについては、子ども福祉課による算出(年により変動幅が大きく増減しないように過去5年間の不慮の事故死亡数及び当該年齢人口(H21年度以降、0歳については出生数)の合計から算出している。)



(単位:人)

区 分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	計
交 通 事 故	0	0	0	0	11	11
不 慮 の 窒 息	1	0	0	0	0	1
不 慮 の 溺 死 及 び 溺 水	0	1	0	0	0	1
転 倒 ・ 転 落	0	0	1	0	0	1
煙, 火・火災への曝露	0	0	0	0	0	0
有害物質による中毒	0	0	0	0	0	0
その他の不慮の事故	0	0	0	0	0	0
不慮の事故死亡総数(A)	1	1	1	0	11	14
年齢階級別死亡総数(B)	37	14	6	5	22	84
不慮の事故の占める割合 A/B(%)	2.7	7.1	16.7	0.0	50.0	16.7

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表11 不慮の事故による死亡率の都道府県別順位(参考値)

人口10万対, ただし, 0歳児は出生10万対

順位	0歳		1～4歳		5～9歳		10～14歳		15～19歳	
国	H25年	8.6	H25年	2.6	H25年	2.0	H25年	1.2	H25年	5.6
1	沖縄県	0.0	山梨県	0.0	香川県	0.9	島根県	0.6	島根県	3.0
2	群馬県	1.3	青森県	0.5	奈良県	1.0	山口県	0.6	東京都	3.1
3	福井県	3.0	島根県	0.9	山梨県	1.0	石川県	0.7	京都府	3.7
4	山梨県	3.1	山形県	1.7	埼玉県	1.2	群馬県	0.8	高知県	4.0
5	島根県	3.6	長崎県	1.7	熊本県	1.2	佐賀県	0.9	岩手県	4.3
6	埼玉県	5.5	奈良県	1.8	大阪府	1.3	東京都	0.9	秋田県	5.1
7	奈良県	5.7	東京都	1.9	愛媛県	1.3	神奈川県	0.9	神奈川県	5.4
8	福岡県	6.5	神奈川県	1.9	茨城県	1.3	京都府	1.0	宮崎県	5.4
9	徳島県	6.9	栃木県	2.1	静岡県	1.4	埼玉県	1.1	北海道	5.4
10	東京都	7.2	大阪府	2.1	長野県	1.4	千葉県	1.2	長野県	5.5
11	岡山県	7.3	山口県	2.2	京都府	1.4	大阪府	1.2	青森県	5.6
12	高知県	7.5	千葉県	2.4	東京都	1.4	沖縄県	1.2	熊本県	5.7
13	和歌山県	8.1	沖縄県	2.5	秋田県	1.5	滋賀県	1.4	埼玉県	5.8
14	石川県	8.3	京都府	2.6	神奈川県	1.7	茨城県	1.4	山形県	5.8
15	岐阜県	8.4	埼玉県	2.7	三重県	1.9	鳥取県	1.4	兵庫県	5.9
16	京都府	8.7	福井県	2.9	千葉県	1.9	福井県	1.5	大阪府	5.9
17	新潟県	9.1	愛知県	3.0	島根県	1.9	青森県	1.5	石川県	6.0
18	秋田県	9.1	大分県	3.0	栃木県	2.0	熊本県	1.6	滋賀県	6.0
19	茨城県	9.4	鹿児島県	3.0	山形県	2.0	和歌山県	1.7	大分県	6.1
20	山形県	9.5	鳥取県	3.1	岩手県	2.1	長野県	1.7	静岡県	6.2
21	大阪府	9.7	静岡県	3.1	滋賀県	2.3	鹿児島県	1.7	長崎県	6.2
22	大分県	10.1	兵庫県	3.2	山口県	2.3	兵庫県	1.7	山梨県	6.2
23	青森県	10.6	滋賀県	3.3	群馬県	2.4	愛媛県	1.7	徳島県	6.3
24	熊本県	11.2	広島県	3.4	愛知県	2.4	三重県	1.8	佐賀県	6.4
25	兵庫県	11.5	茨城県	3.4	新潟県	2.4	静岡県	1.8	栃木県	6.4
26	静岡県	11.5	愛媛県	3.5	徳島県	2.5	山梨県	1.9	群馬県	6.4
27	北海道	11.7	福岡県	3.6	富山県	2.5	北海道	1.9	福岡県	6.8
28	長野県	11.8	岐阜県	3.7	福岡県	2.5	富山県	2.0	新潟県	6.8
29	広島県	11.9	北海道	3.8	長崎県	2.5	愛知県	2.0	愛知県	7.1
30	宮崎県	11.9	和歌山県	4.0	兵庫県	2.6	奈良県	2.1	富山県	7.1
31	神奈川県	12.0	富山県	4.0	広島県	2.6	栃木県	2.1	広島県	7.2
32	鳥取県	12.4	秋田県	4.1	福井県	2.7	香川県	2.2	和歌山県	7.7
33	富山県	12.5	群馬県	4.1	沖縄県	2.7	大分県	2.2	奈良県	8.0
34	愛知県	12.5	岡山県	4.2	大分県	2.7	福岡県	2.2	千葉県	8.1
35	千葉県	13.5	徳島県	4.3	北海道	2.7	長崎県	2.2	山口県	8.3
36	栃木県	13.6	石川県	4.5	青森県	2.8	徳島県	2.3	福井県	8.3
37	長崎県	13.6	宮崎県	4.5	和歌山県	2.8	岐阜県	2.3	鳥取県	8.6
38	愛媛県	14.3	新潟県	4.6	岐阜県	3.1	新潟県	2.3	愛媛県	8.6
39	山口県	14.4	三重県	4.7	鹿児島県	3.4	広島県	2.4	鹿児島県	8.7
40	佐賀県	16.0	香川県	4.9	岡山県	3.6	岡山県	2.6	岡山県	8.9
41	鹿児島県	18.7	長野県	4.9	石川県	3.8	山形県	2.9	茨城県	9.3
42	滋賀県	19.7	熊本県	5.4	鳥取県	3.8	秋田県	3.4	三重県	9.5
43	香川県	21.8	佐賀県	6.6	佐賀県	3.9	高知県	3.5	岐阜県	10.8
44	三重県	26.6	高知県	8.9	高知県	4.5	岩手県	3.8	香川県	11.4
45	福島県	30.3	福島県	11.2	宮崎県	5.0	宮崎県	3.9	沖縄県	14.1
46	宮城県	49.0	岩手県	40.4	福島県	8.0	福島県	5.3	福島県	16.4
47	岩手県	54.8	宮城県	46.6	宮城県	37.2	宮城県	27.1	宮城県	31.7

資料:厚生労働省「人口動態統計」, 総務省統計局「国勢調査人口等基本集計」

注) 各都道府県の死亡率については年による変動の影響を考慮し, 平成21年から平成25年の5年間の平均死亡率を子ども福祉課で独自に算出した。

① 0歳の不慮の事故による死亡率の求め方

平成21年～25年の不慮の事故による死亡数の和/平成21年～25年の各都道府県の出生数の和×10万

② 各年齢階級(1～4歳, 5～9歳, 10～14歳, 15～19歳)の不慮の事故による死亡率の求め方

平成21年～25年の不慮の事故による死亡数の和/(平成22年国勢調査による各年齢の人口)×5年間×10万